

Kodak

i200 シリーズ スキャナ

ユーザーズ ガイド

A-61167_ja

部品番号 9E3968

カタログ番号 850 7543

コダック iNnovation シリーズ スキャナ

目次

はじめに	1
スキャナの機能	1
用紙搬送機能	2
速度／容量（スループット）	2
イメージ品質機能	2
メンテナンス	2
オプションのアクセサリ	3
原稿のスキャン準備	3
推奨される原稿	4
安全性に関する情報	5
警告ラベル	5
ユーザへの注意事項	5
安全性および規制に関する機関の承認	6
環境に関する情報	7
騒音	7
電源システム	7
EMC 声明	8
米国	8
日本	8
台湾	8
中華人民共和国	8
ヨーロッパ連合（EU）向け	8
スキャナの接続	9
設置場所について	9
システム要件	10
最小システム構成	10
推奨システム構成	10
スキャナの開梱	11
スキャナのユーザ登録	11
スキャナのコンポー ネント	11
前部	11
後部	12
側部	12
内部	12
接続設定	13
IEEE-1394（FireWire）カードのホスト コンピュータ へのインストール	13
コダックドライバ ソフトウェアのインストール	13
IEEE-1394（FireWire）ケーブルの取り付け	13
電源のセットアップ	14
入力トレイと出力トレイ	17
入力トレイの接続	17
出力トレイの接続	17
延長トレイとサイドガイド	17
出力トレイの調節	18
入力トレイと出力トレイの収納	18
オプションのアクセサリの取り付け	18

スキャナの使用法	19
スキャンの開始および停止	19
自動給紙	19
連続給紙	19
手動給紙	20
破損した原稿	20
追加機能	21
長尺モード	21
特殊原稿モード	21
iThresholding を採用したパーフェクトページ技術	22
トグルパッチ	22
メンテナンス	23
スキャナのクリーニング	23
セパレータモジュールのクリーニング	24
フィードモジュールのクリーニング	25
ドライブローラおよび搬送部のクリーニング	26
イメージングガイドのクリーニング	27
搬送路のクリーニング	28
部品の交換	28
スキャナのキャリブレーション	29
トラブルシューティング	30
インジケータライト	30
ランプ	30
紙詰まりの取り除き方	30
セパレータモジュールの張力の調節	31
システムが応答しない場合	32
カラーイメージ品質	32
問題の解決	33
スキャナの輸送	35
仕様	A-1
消耗品およびアクセサリ	B-1
コタック i200 シリーズインフリンタ	C-1
インフリンタキットの内容	C-1
インフリンタの取付け	C-2
電子回路カバーの取外し	C-2
インフリンタホートとケーブルの接続	C-3
インフリンタの取付けの完了	C-8
インクフロッタストリップの取付け	C-10
インクカートリッジの取り付け	C-11
インフリンタ位置の設定	C-12
インフリンタのメンテナンス	C-13
インフリンタに関する問題	C-13
インフリンタコンポーネントの寿命	C-13
インフリンタ不使用時の注意点	C-13
インクカートリッジの交換	C-13
インクフロッタストリップの交換	C-14
インクカートリッジキャリアの交換	C-15

インプリンタの概要	C-16
印字文字	C-16
インプリンタの仕様	C-17
コタック i200 シリーズシヨイント型フラットヘッド	D-1
シヨイント型フラットヘッドキットの内容	D-1
フラットヘッドの仕様	D-1
シヨイント型フラットヘッドの取り付け	D-1
フラットヘッドの使用法	D-3
本のスキャン	D-3
フラットヘッドのキャリフレーション	D-4
フラットヘッドのクリーニング	D-5
電源障害時の対処法	D-5
シヨイント型フラットヘッドの取外し	D-6
オプションのメモリのインストール	E-1
スキャナへのメモリのインストール	E-1

コダック i200 シリーズスキャナを接続して操作する前に、このガイドをお読みください。このガイドには、スキャナの接続、使用、メンテナンスに関する重要な説明が記載されています。

- コダック スキャナ i250 は、オートドキュメントフィーダを備えたデスクトップ用片面カラースキャナです。
- コダック スキャナ i260 は、オートドキュメントフィーダを備えたデスクトップ用両面カラースキャナです。
- コダック スキャナ i280 は、オートドキュメントフィーダを備えたデスクトップ用両面カラースキャナです。

スキャナの機能

- 優れたペーパーハンドリング、イメージ品質および信頼性
- カラーを白黒およびグレースケールと同速度でスキャン
- カラーおよび白黒の同時出力
- 長尺および特殊原稿モード (i280 のみ)
- iThresholding を採用したパーフェクトページ技術による明瞭なイメージとテキスト、なめらかな線、すぐれた再現性、および適度な濃度
- トグルパッチ機能で、連続作業中にカラーモードに切替え (i280 スキャナのみ)
- クロッピング機能でイメージの縁の黒線を除去
- 使用とメンテナンスが簡単
- さまざまな種類の用紙重量および用紙サイズに対応
- コンパクトなサイズで、デスクやテーブルの上に場所を取らずに設置が可能
- 低ノイズレベル
- 簡単な接続
- 各スキャナに付属の CD に ISIS および TWAIN デバイスドライバを収録
- 多言語サポート
- 自動オーバーラップ / 重送検知
- 全スキャナモデルが世界各国での使用に適した複数の電源要件に対応
- ユーザによるキャリブレーションが随時可能
- 赤、緑、青のエレクトロニックカラードロップアウト

用紙搬送機能

- 自動給紙および手動給紙
- 原稿の長さおよび厚さによる重送検知
- オペレータ補助による「連続的」に一枚ずつ給紙する機能を備えたオートドキュメントフィーダ (ADF)

速度／容量 (スループット) 1 分当たりのページ数 (ppm) で表された以下の速度は、カラー、グレースケール、および白黒出力の場合です。

解像度	横 (A4)			縦 (レター)		
	i250 スキャナ	i260 スキャナ	i280 スキャナ	i250 スキャナ	i260 スキャナ	i280 スキャナ
150dpi	67ppm	67ppm (134ipm)	82ppm (164ipm)	53ppm	53ppm (106ipm)	67ppm (134ipm)
200dpi	50ppm	50ppm (100ipm)	60ppm (120ipm)	40ppm	40ppm (80ipm)	50ppm (100ipm)
300dpi	33ppm	33ppm (66ipm)	40ppm (80ipm)	26ppm	26ppm (53ipm)	33ppm (66ipm)

イメージ品質機能

- ATP (アダプティブスレッショルドプロセッシング)、イメージ圧縮、ノイズフィルタ、および白黒スキャン用のディザ
- 内蔵の iThresholding 機能により、簡単設定で各種品質 (かすれた文字、濃い背景、カラーの背景など) の混合ドキュメントでも最高の白黒スキャン品質
- イメージキャプチャ光学解像度 : 300dpi
- イメージ出力解像度 : 白黒、グレースケール、カラー : 75/100/150/200/240/300/400/600dpi

注記: 400dpi および 600dpi におけるスループット速度は PC によって異なります

- キャリブレーション後に良好なカラーバランスを保つためのオートカラーバランス (オートホワイトバランス) 補正
- 最高のカラーイメージ品質を実現するピクセルおよびカラー補正
- 数多くのイメージビューアでの表示を可能にする 5 レベルの JPEG 圧縮

メンテナンス

- 簡単に交換できるフィードモジュールとセパレータモジュール
- 1 つの手順で簡単に紙詰まりを解消
- 電源、レディ、エラー、および操作状態を示す LED インジケータ

オプションのアクセサリ

- コダック i200 シリーズインプリンター - 日付、時刻、指定された文字列、連番などを原稿の裏面に印字します。このアクセサリについては、付録 C の「コダック i200 シリーズインプリンタ」を参照してください。
- コダック i200 シリーズジョイント型フラットベッド - A3サイズのフラットベッドにより、大きなサイズの前稿もスキャンできるようになります。このアクセサリについては、付録 D の「コダック i200 シリーズジョイント可能型フラットベッド」を参照してください。

注記：これらのアクセサリの注文については、付録 B の「消耗品とアクセサリ」を参照してください。

- メモリ (SODIMM) の追加 - メモリカードは、お近くのコンピュータサプライ取扱店でご購入ください。メモリカードのインストール手順は、付録 E の「オプションのメモリのインストール」を参照してください。

原稿のスキャン準備

- スキャナに給紙する原稿の束は、オートドキュメントフィーダの下に先端を揃えて中央に配置する必要があります。これにより、原稿をフィーダで 1 枚ずつスキャナに搬送することができます。原稿はスキャンする側を下向きに配置する必要があります。
- 原稿がホッチキスやクリップで留められていると、スキャナに損傷を与える場合があります。ホッチキスやクリップは、スキャンする前にすべて取り除いてください。
- 破れたりしわになっているページがある原稿でも、このスキャナでは問題なくスキャンすることができます。ただし、原稿の破損状態によっては例外もあります。破損した原稿をスキャナに搬送できるかどうか不確かな場合は、原稿を保護用クリアシートに入れます。シートは 1 枚ずつ手動で給紙する必要があります。ギャップリリースレバーを持ち上げながら、端が閉じている方から給紙してください。

注記：オプションのコダック i200 シリーズジョイント型フラットベッドを使用すると、損傷した原稿をスキャンすることができます。

なお、i280 スキャナのオートドキュメントフィーダでは、特殊原稿モードにすると、不整形のドキュメント（たとえば、クーポンを切り取ったページ、大きな穴や切り取りがある原稿）でもスキャンできるようになります。詳細については、「追加機能」の項を参照してください。

- 保護用クリアシートに入った原稿をスキャンするときは、入力トレイのガイドをシートの幅に合わせて調節する必要があります。

注記：コダックのスキャナは、最も一般的な業務で使われるさまざまな原稿の種類でテストされています。推奨する原稿の仕様範囲内で原稿をスキャンすると、スキャナの最適なパフォーマンスを得られます。これらの仕様範囲外で原稿をスキャンした場合、スキャナの信頼性、イメージ品質、寿命において好ましくない結果を招くことがあります。

推奨される原稿

次の表は、推奨される原稿の属性をまとめたものです。

素材	<ul style="list-style-type: none"> • 未使用紙および再生紙 • 印画紙 <ul style="list-style-type: none"> • この項で記載されたサイズおよび厚さの要件を満たす保護用クリアシート
用紙の種類	<ul style="list-style-type: none"> • ボンド • レーザー <ul style="list-style-type: none"> • インクジェット • オフセット
用紙重量	ドキュメントフィーダは、50 ~ 200g (13 ~ 110 ポンド) の幅広い用紙重量に対応しています。
原稿の最小サイズ (幅 x 長さ)	8.9x6.4cm (3.5x2.5 インチ)
原稿の最大サイズ (幅 x 長さ)	<p>i250 スキャナ / i260 スキャナ</p> <p>標準メモリ搭載時：29.7 x 43.2cm (11.7 x 17 インチ)</p> <p>拡張メモリ搭載時：29.7 x 66.0cm (11.7 x 26.0 インチ)</p> <p>ジョイント型フラットベッド使用：29.7 x 43.2cm (11.7 x 17 インチ)</p> <p>i280 スキャナ</p> <p>標準メモリ搭載時：29.7 x 86.4cm (11.7 x 34 インチ)</p> <p>ジョイント型フラットベッド使用：29.7 x 43.2cm (11.7 x 17 インチ)</p> <p>注記：i280 スキャナは 609cm (20 フィート) までのロールタイプ原稿が扱えます。(長尺モード)</p>
用紙上のインク	<p>注記：スキャンを開始する前に、用紙上のすべてのインクが乾いていることを確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 標準オフセット印刷用 • インクジェットプリンタ用 • 熱転写用 • 手書き用インク
修正液	<p>注記：スキャンを開始する前に、用紙上のすべての修正液が乾いていることを確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Liquid Paper® • Tipp-Ex® • Wite-out® • その他の類似する修正液
原稿をまとめて自動給紙する場合の高さ	原稿をまとめて給紙する場合の最大の高さは 10.2mm (0.4 インチ)、または 60g (16 ポンド) の用紙で約 150 枚です。

安全性に関する情報

- スキャナを配置する際は、電源コンセントが スキャナの 1.52m (5 フィート) 以内にあり、簡単にコンセントに接続できることを確認してください。
注意： スキャナと電源アダプタは、室内の 湿気のない場所でのみ使用してください。
- コダック製品に使用されている化学物質の情報、製品安全データシート (MSDS) はコダックのウェブサイト www.kodak.com/go/MSDS から入手できます。カタログ ナンバーについては、付録 B の「消耗品およびアクセサリ」を参照してください。number information.

警告ラベル



注意： 高電圧。接触を避けること。



注意： 高温度。接触を避けること。



注意： 可動部品。接触を避けること。

警告： スキャナの操作中は、スキャナのフロントパネルが定位置で閉じた状態になっている必要があります。

プリントヘッドの位置を変更するかインクカートリッジを交換するとき以外は、インプリンタアクセスドアは、定位置で閉じた状態になっている必要があります。

インプリンタアクセスドアを取り外すときは、着用している服の一部、装身具、髪の毛、またはその他の物がインプリンタ部に入り込まないようにしてください。

ユーザへの注意事項

ユーザやその管理者は、機械を操作するにあたり、常識的な注意を払う必要があります。注意事項には、たとえば次の内容が含まれます。

- 過度にゆったりした服装を避け、袖口のボタンを外さないようにしてください。
- 外れやすい装身具、ブレスレット、大きな指輪、長いネックレスなどは身に付けないようにしてください。
- 髪の毛は、必要に応じてヘアネットを使用するか、長い髪は束ねるなどして、短くまとめます。
- 機械の周辺にある、吸い込まれそうな小さな物はすべて取り除きます。
- 時折十分な休憩を取って、集中力を保つようにします。

業務監督者は、コダック i200 シリーズスキャナおよびその他の機械オペレータが従うルールに、上記のような予防措置を含めるようお願いします。

安全性および規制に関する
機関の承認

コダック i200 シリーズスキャナは、国内および海外で定められている製品の安全性および電子放出規制要件のすべてに適合しています。準拠する法的な要求事項は以下のとおりです（ただし、この限りではありません）。

コダック i200 シリーズスキャナの規制に関する機関の承認				
国または地域	安全性承認	安全規格 マーク	電磁規制	EMC マーク
オーストラリア			AS/NZS 3548 クラス A	C-Tick
カナダ	CAN/CSA-C22.2 No. 60950-00 第3版標準規格	C - UL	カナダ ICES - 003 発行3 クラス A	
中華人民共和国	GB4943-1995	CCC "S&E"	GB 9254:98 クラス A GB 17625.1:2003 ハーモニックス	CCC "S&E"
ヨーロッパ連合		CE	EN 55022:95 ITE エミッション規格 クラス B i200 シリーズジョイント型フラット ベッド使用時は ITE エミッショ ン規格 クラス A EN 61000-3-2 電源高調波 EN 61000-3-3 フリッカ EN 55024:95 ITE イミュニティ	CE
ドイツ	EN 60950 : 2000	TUV GS		
国際規格	IEC 60950 3 版		CISPR 22 クラス B i200 シリーズジョイント型フラッ トベッド使用時は CISPR 22 クラ ス A	
日本			VCCI クラス A	
台湾			CNS 13438 クラス A	BSMI
米国	UL 60950 第3版	UL	CFR 47 パート 15、サブパート B FCC クラス A	

環境に関する情報

- コダック i200 シリーズスキャナは、環境に対する世界中の要件に対応できるように設計されています。
- i200 シリーズスキャナの電源アダプタコードジャケットと電子回路のはんだ部分に鉛が含まれています。鉛の廃棄は、環境への配慮から規制されている場合があります。廃棄またはリサイクルに関する情報については、地方公共団体、または米国では、**Electronics Industry Alliance (EIA 米国電子工業会)** www.eiae.org にお問い合わせください。
- 入手可能な情報によると、インクカートリッジの処分については、米国 EPA (RCRA)、米国 Clean Water Act (CWA)、またはその両方によって規制されません。ただし、州または地域の埋立、焼却、またはリサイクルの要件に規制される場合があります。
- メンテナンスまたはサービス時に交換した消耗品の廃棄についてはガイドラインを参照してください。詳細については、地域の規制に従うか最寄のコダック代理店にお問い合わせください。
- 製品パッケージはリサイクル可能です。
- 部品は再利用またはリサイクルを行うように設計されています。
- i200 シリーズスキャナは、エネルギースターに準拠しています。

騒音

Machine Noise Information Ordinance - 3, GSGV
操作者位置の騒音は <7070 dB (A) 以下。

電源システム

この装置は、IT 系統に合わせて設計されています。

EMC 声明

米国

この装置はテストの結果、FCC 規制パート 15 によるクラス A デジタル製品の制限に準拠していることが証明されています。これらの制限は、商業環境で使用した場合に、有害な電波干渉から適正に保護することを目的としています。本製品は高周波エネルギーを発生させ、使用し、また放射することもあります。取扱説明書に従って設置およびご使用されない場合は、無線通信に有害な障害をもたらす可能性があります。住宅地区でこの装置を使用すると、有害な干渉を引き起こす可能性があります。その場合には、ユーザ側の負担で干渉防止措置を講じる必要があります。

日本

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。したがって、住宅地域またはその隣接した地域で使用すると、ラジオ、テレビ受信機などに受信障害を与えることがあります。この場合には、ユーザが適切な対策を講じるように要求されることがあります。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。その装置を家庭環境で使用すると電波障害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

台湾

警告：この装置はクラス A の製品です。この装置を家庭環境で使用すると、無線妨害を引き起こすおそれがあります。この場合には、ユーザが適切な対策を講じるように要求されることがあります。

警告使用者：

這是甲類的資訊產品，在居住的環境中使用時，可能會造成射頻干擾，在這種情況下，使用者會被要求採取某些適當的對策。

中華人民共和國

警告：この装置はクラス A の製品です。この装置を家庭環境で使用すると、無線妨害を引き起こすおそれがあります。この場合には、ユーザが適切な対策を講じるように要求されることがあります。

声明

此为 A 级产品，在生活环境中该产品可能会造成无线电干扰。在这种情况下，可能需要用户对其干扰采取切实可行的措施

ヨーロッパ連合（EU）向け

警告：この装置はクラス A の製品です。この装置を家庭環境で使用すると、無線妨害を引き起こすおそれがあります。この場合には、ユーザが適切な対策を講じるように要求されることがあります。

スキャナの接続

設置場所について

スキャナは以下のような場所に設置してください。

- 通常のオフィス環境で、温度と相対湿度が保たれた清潔な場所

注意：スキャナと電源アダプタは、室内の湿気のない場所でのみ使用してください。

- 次の重量を支えることのできる安定した平らな表面

- i250 スキャナ：12.5 kg (27.5 ポンド)

- i260 スキャナ：13.9 kg (30.5 ポンド)

- i280 スキャナ：13.9 kg (30.5 ポンド)

- オプションのフラットベッドアクセサリを装着した i250 スキャナ：19.8 kg (43.5 ポンド)

- オプションのフラットベッドアクセサリを装着した i260 スキャナ：21.2 kg (46.5 ポンド)

- オプションのフラットベッドアクセサリを装着した i280 スキャナ：21.2 kg (46.5 ポンド)

- 電源コンセントから 1.52m (5 フィート) 以内の場所

注記：スキャナの仕様の詳細については、付録 A の「仕様」を参照してください。

システム要件

最小システム構成

スキャナを使用する場合、次の最小構成が必要です。

注記：システムの実際の性能は、スキャンアプリケーション、スキャンパラメータの選択、およびホストコンピュータの設定によって異なります。スキャナが最適な速度で動作していない場合は、定格のスループットを得るために、より高速なコンピュータを使用したり、RAMを増設しなければならない場合があります。

- Pentium III 1GHz 以上のプロセッサを搭載した IBM PC（または互換機）
 - i260 スキャナ：300dpi で自動傾き修正付きのスキャンを行う場合、白黒スキャンでは 1.8GHz 以上、カラースキャンでは 2.5GHz 以上のプロセッサを使用する必要があります。
 - i280 スキャナ：300dpi で自動傾き修正付きのスキャンを行う場合、白黒スキャンでは 1.8GHz 以上、カラースキャンでは 2.5GHz 以上のプロセッサを使用する必要があります。
- Microsoft Windows 98SE、Windows Millennium Edition (Me)、Windows 2000、または Windows XP
- 100MB 以上のハードディスク空き容量（200MB を推奨）
- 128MB の RAM
- モニタ (VGA)
- マウス

推奨システム構成

最適な状態で使用するためには、次の構成(または、これ以上)をお勧めします。

注記：システムの実際の性能は、スキャンアプリケーション、スキャンパラメータの選択、およびホストコンピュータの設定によって異なります。

- Pentium IV 3.2 GHz 以上のプロセッサを搭載した IBM PC（または互換機）
- Microsoft Windows 98SE、Windows Millennium Edition (Me)、Windows 2000、または Windows XP
- 200MB 以上のハードディスク空き容量
- 512MB の RAM
- スキャナにメモリ (SODIMM) を追加
 - i250 スキャナ：256MB まで搭載可能
 - i260 スキャナ：256MB まで搭載可能
 - i280 スキャナ：512MB まで搭載可能
- モニタ (VGA)
- マウス

スキャナの開梱

スキャナの梱包箱には次の品目が含まれています。

- コダック i200 シリーズスキャナ
- 入力トレイ
- 出力トレイ
- 電源アダプタ
- 電源コード
- インストール CD
- コダックキャプチャソフトウェア（ライト版）CD
- 「はじめにお読みください」シート
- ユーザーズガイド（英語の印刷版。インストール CD には 9ヶ国語に翻訳されたユーザーズガイドの .pdf ファイルが含まれています）
- ユーザ登録シート
- クリーニング用品
- キャリブレーションシートパック

注記： 梱包材料は、将来の入用時に備えてすべて保管しておいてください。

スキャナのユーザ登録

スキャナを継続して使用する上でコダックから最善のサービスとサポートを受けるには、スキャナのユーザ登録を行ってください。スキャナのユーザ登録をすると、ファームウェアおよびハードウェアが更新されたときに、それらを手に入れるようになります。

注記： サービスサポートを受けるには、スキャナのユーザ登録をする必要があります。

新規スキャナの機器保証登録は、www.kodak.com/go/Dlwarrantyregistrationで行うことができます。

コダックのサービスおよびサポートに関する詳細については、最寄りのコダック Document Imaging 製品代理店または www.kodak.com/go/DIserviceandsupport をご覧ください。

スキャナのコンポーネント

前部

- 1 スキャナドア
- 2 ギャップリリースレバー
- 3 スキャナドアリリース
- 4 用紙ガイド
- 5 入力トレイ
- 6 延長入力トレイ
- 7 フロントパネル
- 8 フロントパネルラッチ



後部

- 1 インプリンタアクセスドア (オプションのインプリンタ用)
- 2 インプリンタアクセスドアハンドル
- 3 FireWire (IEEE-1394) ポート
- 4 電源入力
- 5 出カトレイ
- 6 延長出カトレイ



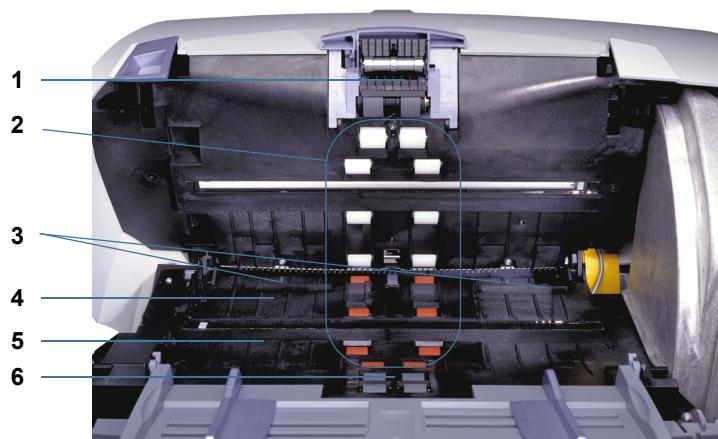
側部

- 1 延長出カトレイ
- 2 出カトレイ
- 3 インジケータライト (赤、緑)
- 4 入カトレイ
- 5 延長入カトレイ



内部

- 1 セパレータモジュール
- 2 ドライブローラ
- 3 インクブロッタストリップ用チャンネル (オプションのインプリンタ用)
- 4 リアローラカバー
- 5 フロントローラカバー
- 6 フィードモジュール



接続設定

スキャナをホストコンピュータに接続する前に、IEEE-1394(FireWire) カードおよびコダックドライバソフトウェアのインストール手順に従ってください。

重要： スキャナを接続する前に、ホストコンピュータにこのソフトウェアをインストールする必要があります。

IEEE-1394(FireWire) カードのホストコンピュータへのインストール

IEEE-1394 6 ピンコネクタは、IEEE-1394 (FireWire) 接続用としてスキャナのリアパネルにあります。

1. カードに添付された指示に従って、IEEE-1394 (Fire Wire) カードをホストコンピュータにインストールしてください。

重要： IEEE-1394 (FireWire) カードをコンピュータにインストールする際は、静電気を防ぐ適切な処置を行ってください。

2. IEEE-1394 (FireWire) カードのインストールが完了したら、ホストコンピュータの電源を入れます。

コダックドライバソフトウェアのインストール

1. コダック i200 シリーズインストール CD を CD-ROM ドライブに挿入します。インストールプログラムが自動的に起動します。
2. 画面上の指示に従って、TWAIN および ISIS ドライバ、SVT (Scan Validation Tool) をインストールします。

IEEE-1394(FireWire) ケーブルの取り付け

1. IEEE-1394 (FireWire) ケーブルのビード部をスキャナ後部の IEEE-1394 ポートに接続します。

警告： 必ず、IEEE-1394 (FireWire) ケーブルの端のコネクタを IEEE-1394 ポートの形状に合った向きで取り付けてください。誤った向きで取り付けると、スキャナに損傷を与える場合があります。

重要： i200 シリーズスキャナに付属の IEEE-1394 ケーブルのみ使用してください。



- IEEE-1394 (FireWire) ケーブルのもう一方の端をホストコンピュータに接続します。

警告：必ず、IEEE-1394 (FireWire) ケーブルの端のコネクタを **IEEE-1394** ポートの形状に合った向きで取り付けてください。誤った向きで取り付けると、スキャナに損傷を与える場合があります。

重要：ホストコンピュータに **IEEE-1394 (Fire Wire)** カードで接続されている機器は、**i200** シリーズスキャナのみであることを確認してください。

電源のセットアップ

スキャナには1本または数本の電源コードが付属しています。ご使用の電源のタイプに必要なコードのみを使用してください。不要な電源コードは適切に処分してください。

スキャナに付属していた電源アダプタのみを使用してください。

注意：スキャナと電源アダプタは、必ず室内の湿気のない場所でのみ使用してください。

重要：これ以外の電源アダプタモデルや他社製の電源アダプタを代用しないでください。

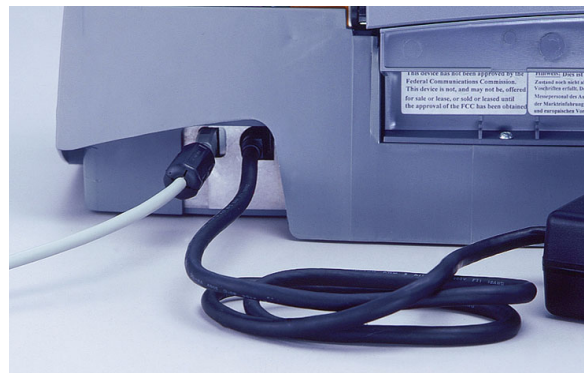
- 電源スイッチの "O" というラベルの付いた側を押して電源がオフになっていることを確認します。



オン/オフ (I/O)
スイッチ

注記：電源スイッチは電源アダプタ上にあります。

- ご使用の電源のタイプに適合した電源コードを電源アダプタに接続します。
- 電源アダプタをスキャナ後部の電源入力に接続します。



4. 電源コードを電源コンセントに接続します。

注記：電源コンセントがスキャナの 1.52m (5 フィート) 以内にあり、簡単にコンセントに接続できることを確認してください。

5. 電源スイッチの "I" というラベルの付いた側を押してスキャナの電源を入れます。

スキャナに電源を入れると、赤と緑のインジケータライトが点灯します。約 1 分後、両方のライトが消えます。緑のインジケータライトが再び点灯すると、スキャナが接続され、スキャンの準備が完了したことになります。ただし、ホストコンピュータがスキャナを検出するまで、もう 2 ~ 3 分かかる場合があります。

最良のキャリブレーション状態とスキャン結果を得るためには、スキャナの光源ランプが温まるまで少なくとも 3 分間必要です。

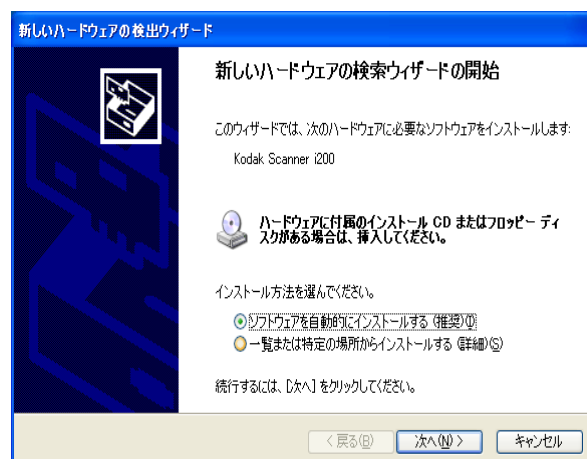
- Windows 2000 を実行しているコンピュータにスキャナをインストールする場合は、次の画面が表示されます。



[はい] を選択します。コダックでは、Windows 2000 での i200 シリーズスキャナの動作は確認済みです。

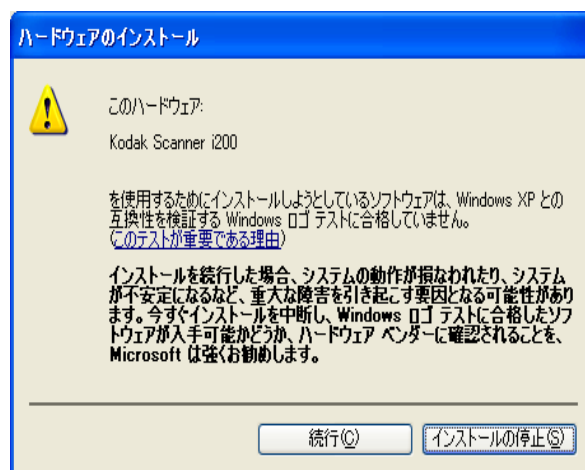
これでスキャナが接続されました。

- Windows XP を実行しているコンピュータにスキャナを接続する場合は、次の画面が表示されます。



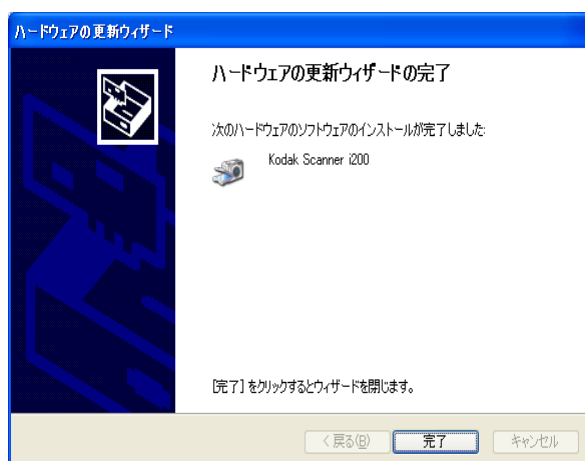
[次へ] を選択します。

次の画面が表示されます。



[続行] を選択します。コダックでは、Windows XP での i200 シリーズスキャナの動作は確認済みです。

次の画面が表示されます。



[完了] を選択します。

これでスキャナが接続されました。

入力トレイと出力トレイ

入力トレイと出力トレイは定位置にカチッと収まるようになっています。また、さまざまな原稿サイズに合わせて調節できるようになっています。スキャナを使用していないときには、入力トレイと出力トレイをスキャナの側面に沿って畳んで、スペースを節約することもできます。



出力トレイ

原稿押さえ

入力トレイ

入力トレイの接続

1. スキャナの入力トレイスロット（大きい穴）の位置を確認します。
2. 入力トレイピンとスロットを合わせます。
3. 入力トレイをカチッと音がして定位置に収まるまで押します。

出力トレイの接続

1. スキャナにある出力トレイスロットの位置を確認します。
2. 出力トレイピンとスロットを合わせます。
3. 出力トレイをカチッと音がして定位置に収まるまで押します。

延長トレイとサイドガイド

- 入力トレイと出力トレイには、長尺原稿に対応するための延長トレイが付いています。延長トレイをつかんで目的の位置に引き出してください。
- 入力トレイにはサイドガイドが付いています。このガイドを動かして、フィーダを原稿のサイズに合わせて調節します。サイドガイドをつかんで目的の位置にスライドさせます。



延長出力トレイ

延長入力トレイ

出力トレイの調節

出力トレイは調節可能で、3つの位置が用意されています。



長尺原稿用の最も低い位置



レターまたは A4 サイズ原稿用の中間位置



小切手用の最も高い位置

- 長尺原稿をスキャンするときは、出力トレイを最も低い位置にセットします。
- レターまたは A4 サイズの原稿をスキャンするときは、出力トレイを中間の位置にセットします。
- 小切手をスキャンするときは、出力トレイを最も高い位置にセットし、最初の原稿押さえを起こします。

長さが 14cm (5.5 インチ) の原稿をスキャンするときは、最も高い位置で 2 番目の原稿押さえを使用します。

1. トレイの両側をつかみます。
2. トレイを持ち上げて、目的の位置まで上下に移動します。

入力トレイと出力トレイの収納

スキャナを使用しないときは、スキャナのトレイを移動することができます。

1. 入力トレイをつかみます。
2. 入力トレイがスキャナの前面にぴったり付くまでトレイを持ち上げます。
3. 出力トレイをつかみます。
4. 出力トレイがスキャナの背面にぴったり付くまでトレイを持ち上げます。



オプションのアクセサリの取り付け

コダック i200 シリーズインプリンタ、コダック i200 シリーズジョイント型フラットベッド、追加メモリ (SODIMM) をご購入の場合は、このガイドで該当する付録の取り付け手順を参照してください。

スキャナのご使用方法

スキャンの開始および停止

スキャンはアプリケーション用に開発されたソフトウェアによって制御されます。スキャンの開始および停止の手順については、ソフトウェアに付属のマニュアルを参照してください。

自動給紙

原稿の束をスキャンするには、「はじめに」の項で説明されたサイズ、種類、量などの指針に従ってください。より高速に処理するには、オートドキュメントフィーダ（ADF）に原稿を横長（辺の長い方を前）に置いて給紙します。

重要： 原稿がホッチキスやクリップで留められていると、スキャナに損傷を与える場合があります。ホッチキスやクリップは、スキャンする前にすべて取り除いてください。

1. 束ねた原稿の先端をそろえます。
2. 原稿の先端を揃え、**下向き**にして ADF の中央に置きます。



3. ドキュメントフィーダガイドを調節します。
4. 必要に応じて、出力トレイの位置を調整します。
5. 必要に応じて、延長出力トレイを引き出します。
6. スキャンを開始します。

連続給紙

連続給紙では、追加原稿の束をフィーダに配置して、「無限に」給紙することができます（オペレータの補助が必要）。

- フィーダに残っている原稿が数枚になったら、この上に次の束を**下向き**に配置します。



手動給紙

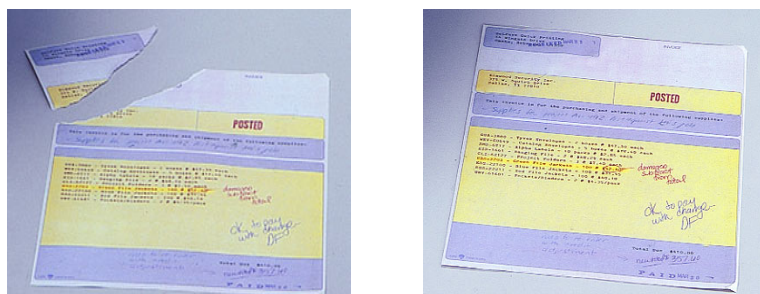
「はじめに」の項で説明された原稿のサイズ、種類、重さ、量などの指針に従ってください。原稿の先端を揃え、**下向き**にして ADF の中央に置き、スキャンを開始します。

破損した原稿

破損した原稿や破損しやすい原稿は、保護用クリアシートに入れ、オートドキュメントフィーダを使用してスキャンすることができます。

注記：i280 スキャナには、特殊原稿モード機能があり、ADF を使用して不整形の原稿や穴のある原稿をスキャンすることができます。詳細については、「追加機能」の項を参照してください。

1. 破損した原稿を保護用クリアシートに入れます。



2. クリアシートを下向きに、端が閉じている方を先頭にして、ADF の中央に配置します。



ギャップリリースレバー

3. 必要に応じて、ギャップリリースレバーを持ち上げます（これにより、さらに隙間の空間が広がって原稿を給紙しやすくなります）。
4. スキャンを開始します。

追加機能

より多くの原稿の種類をより速く、より高品質でスキャンするための追加機能を次に示します。iThresholding を採用したパーフェクトページ技術を除き、これらの機能は i280 スキャナのみで使用できます。

- 長尺モード
- 特殊原稿モード
- iThresholding を採用したパーフェクトページ技術 - すべての i200 シリーズ スキャナ
- トグルパッチ

長尺モード

長尺モードは、スキャナが通常扱える 34 インチを超える長さの原稿をスキャンすることができます。長尺モードでは、609cm (20 フィート) までの原稿を 300dpi でスキャンすることができます。ロールタイプの原稿 (たとえば、EKG チャート、チャートレコーダロール、その他のロールタイプの原稿) もスキャンすることができます。

スキャンした原稿は複数のイメージで送信されます。スキャンアプリケーションの固定クロップオプションで、イメージの高さと幅を指定することができます。推奨セグメントサイズは、10 から 12 インチです。

特殊原稿モード

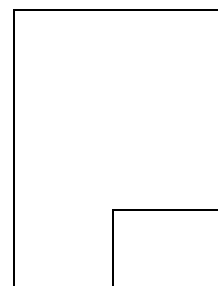
不整形の原稿 (たとえば、クーポンを切り取ったページ、大きな穴や切り取りがある原稿) はイメージが切れたり、紙詰まりを起こすことがあります。特殊原稿モードにすればスキャンできるようになります。

特殊原稿モードを使用するとスキャナのスループットが下がります。(たとえば、A4 またはレターサイズの原稿を縦置き、200dpi でスキャンした場合、25% 程度下がります。)

注記： スキャナは、短い方の端で原稿の終わりを認識するため、横側と下側に切り取りがある原稿 (たとえば、右図) では、特殊原稿モードでも、スキャン中に停止する場合があります。

これらのタイプの原稿は、フィードモジュールのタイヤの下に置くか、保護用クリアシートに入れることでスキャンできるようになります。

極端に破れたり、断片になっているものは保護用クリアシートに入れてください。



iThresholding を採用した パーフェクト ページ技術

iThresholding を採用したパーフェクトページ技術は、背景やテキストのコントラストがページによって異なっている混合原稿を一括でスキャンする場合に欠かせません。従来は手動調整が必要としていた原稿（ハイライト部分がある、低コントラスト、薄紙など）も、それぞれ明るさを自動調整します。

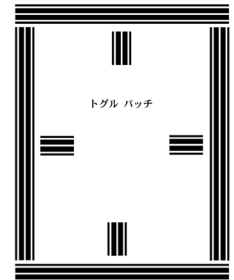
iThresholding 機能を使用すると、原稿の束をそれぞれ動的に評価して最適なスレッシュホールドを決定するため、最高のイメージ品質が得られます。

iThresholding 機能により、コントラストの低い原稿から高い原稿まで、広範囲に渡り最高のイメージ品質を得られるので、予め選別、再スキャン、後処理などの手間を減らします。ほとんど、あるいは全くユーザの介入なしに、明瞭なイメージとテキスト、なめらかな線、すぐれた再現性、適度な濃度でのスキャン結果が得られます。

トグルパッチ

トグルパッチ機能により、スキャナが現在のスキャンモードから別のモード（たとえば、白黒からカラー、カラーから白黒）への切替えをすることができます。

トグルパッチ（右図）を使用すると、カラーモード切替え機能が働きます。カラーモード切替え機能では、トグルパッチがスキャナに読み込まれるたびに、自動的にスキャンモードを切り替えます。



注記：インストール CD には、トグルパッチ原稿の .pdf ファイルが含まれています。トグルパッチ原稿を高品質のプリンタで印刷してください。

両面にトグルパッチを印刷した原稿を両面モードでスキャンしないでください。

メンテナンス

スキャナのクリーニング

日常的にスキャンするうちに、スキャナにはほこりやゴミが付着します。スキャナの性能を最適に保つには、この項で説明するクリーニング手順に従って、フィードモジュールローラ、セパレータモジュールタイヤ、イメージングガイド、搬送部、搬送路などを少なくとも週に 1 度クリーニングしてください。ノンカーボン紙や新聞紙をスキャンしている場合、またはインプリンタを使用している場合には、スキャナと搬送路を毎日クリーニングしてください。次のクリーニング用品のみ使用するようになしてください。

品目	CAT No.
コダックデジタルサイエンスローラクリーニングパッド (24 枚)	853 5981
静電クリーニングクロス (144 枚)	896 5519
コダックデジタルサイエンストランスポートクリーニングシート (50 枚)	169 0783

重要： 静電クリーニングクロスには、目に刺激を与え、肌のかさつきの原因となるイソプロパノールが含まれています。メンテナンス作業が終わったら、石鹸と水で手を洗ってください。詳細については、製品安全データシート (MSDS) を参照してください。MSDS は、コダックのウェブサイト www.kodak.com/go/MSDS から入手できます。

スキャナを使用する前にすべてのタイヤを完全に乾燥させてください。

注記： 他のクリーニング製品を使用すると、スキャナに損傷を与える場合があります。

特に指示がない限り、新しいクリーニング用品を使用してください。

推奨されるクリーニング用品のほかに、掃除機を使用してスキャナのゴミを取り除くこともできます。

フィードモジュールおよびセパレータモジュールのゴムタイヤに付着するゴミは問題ありません。タイヤのゴミは、必ずしも磨耗や損傷を意味するものではありません。クリーニング後、タイヤを点検し、必要に応じてセパレータモジュールまたはフィードモジュールを交換してください。

クリーニング用品を注文するには、付録 B の「消耗品およびアクセサリ」を参照してください。

セパレータモジュールのクリーニング

1. スキャナの電源を切ります。
2. フィーダから原稿を取り除きます。
3. スキャナドアリリースを持ち上げて、スキャナドアのラッチを解除します。
4. スキャナドアを持ち上げて開きます。



5. セパレータモジュールを引き下げてから持ち上げて取り外します。



セパレータモジュール

6. セパレータモジュールタイヤを回転させ、ローラクリーニングパッドで拭いてください。



7. タイヤを点検します。

セパレータモジュールタイヤに磨耗または破損の兆しが見られる場合は、タイヤまたはセパレータモジュールを交換します。

8. セパレータモジュールを挿入し、軸の端を揃えます。

9. カチッと音がして定位置に収まるまでセパレータモジュールを押し込みます。

10. 次の項に進んでフィードモジュールをクリーニングします。

フィードモジュールのクリーニング

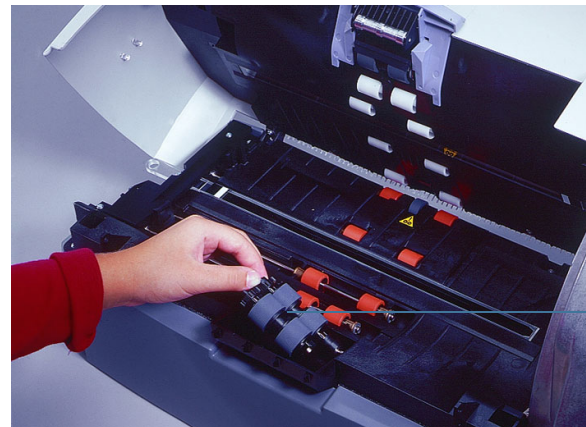
1. フロントローラカバーの左側にある、突き出ている端を横に押し、カバーを引き上げて取り外します。



フロントローラカバー

注記：フロントローラ カバーを取り外す際に、入力トレイを少し持ち上げなければならない場合があります。

2. フィードモジュールを右に押してから持ち上げて取り外します。



フィードモジュール

3. フィードモジュールを回転させて、ローラクリーニングパッドで拭いてください。



4. フィードモジュールを点検します。
フィードモジュールタイヤに磨耗または破損の兆しが見られる場合は、タイヤまたはフィードモジュールを交換します。
5. フィードモジュールの下にあるトレイとフロントローラカバーからほこりやゴミを取り除きます。
6. フィードモジュールのピンを合わせ、モジュールを右方向に押しして定位置に収めます。
7. フロントローラカバーを再び取り付けます。
8. 次の項に進んでドライブローラと搬送部をクリーニングします。

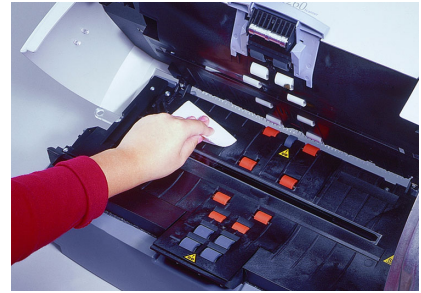
ドライブローラおよび搬送部のクリーニング

1. ドライブローラを回転させて、ローラクリーニングパッドで拭いてください。



2. ドライブローラ周囲にあるスロット内のほこりやゴミを取り除きます。

- ローラクリーニングパッドで上下の搬送部を拭き取ります。



- 乾いた静電クリーニングクロスで搬送部を乾かします。
- リアローラカバーの左側にある突き出ている端を押し、カバーを引き上げて取り外します。



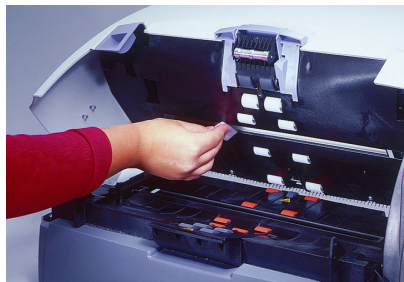
リアローラカバー

- リアローラカバーの下のほこりやゴミを取り除きます。
- リアローラカバーを再び取り付けます。
- 次の項に進んでイメージングガイドをクリーニングします。

イメージングガイドのクリーニング

イメージングガイドの見える面（上側）をクリーニングします。クリーニングのためにイメージガイドを取り外す必要はありません。

- 上部イメージングガイドおよび下部イメージングガイドを静電クリーニングクロスで拭きます。



- 乾いた静電クリーニングクロスでイメージングガイドを乾かします。
- スキャナドアを下げて、ラッチがかかるまでしっかりと押し込みます。
- 次の項に進んで搬送路をクリーニングします。

搬送路のクリーニング

1. トランSPORTクリーニングシートの包装を外します。
2. クリーニングシートに合わせてドキュメントフィーダを調節します。
3. ドライブローラに付着したゴミがすべて無くなるまでクリーニングシート（粘着面を上にする）を縦長方向にしてスキヤナ搬送部に給紙します。
4. フィーダガイドを適切に調整し、ドライブローラに付着したゴミがすべて無くなるまでクリーニングシート（粘着面を上にする）を横長方向にしてスキヤナ搬送部に給紙します。
5. 同じクリーニングシートを使用して手順3と4を繰り返します。クリーニングシートの粘着面を下にして、ドライブローラに付着したゴミがすべて無くなるまで給紙します。

注記：クリーニングシートが汚れてきたら、汚れたシートは捨てて新しいものに取り替えてください。

部品の交換

消耗品（フィードモジュール、セパレータモジュール、プリセパレーションパッド、ローラタイヤ、および取り付け手順書）は次のキットで提供されています。

品目	CAT No.
コダックフィーダ交換キット i200 シリーズスキヤナ用 (フィードモジュール 1 個、セパレータモジュール 1 個、プリセパレーションパッド 2 個、タイヤ 24 個)	124 1066
コダックフィーダ交換用キット i200 シリーズスキヤナ用 ラージパック(フィードモジュール5個、セパレータモジュール 5 個、プリセパレーションパッド 10 個、ローラタイヤ 120 個)	821 5808
コダックイメージングガイドセット (上部ガイド 1 個、下部ガイド 1 個)	120 0278

これらの交換部品以外は使用しないでください。

ユーザが交換できる部品の寿命は以下に示すとおりです。

- コダックセパレータモジュール i200 シリーズスキヤナ用 200,000 枚
- フィードモジュール i200 用 50 万枚

注記：タイヤには極めて信頼性が高い素材を使用しており、最も幅広い種類、サイズ、厚さの原稿を給紙いたします。寿命は、この項で説明されている推奨されるスキヤナのクリーニング手順に従って、推奨される用紙の種類（「はじめに」の項の「ドキュメントのスキヤン準備」を参照してください）の範囲内で原稿をスキヤンした場合の指針として示されています。

寿命はスキヤナの使用状況によって異なります。特定の用紙の種類（ノンカーボン用紙や新聞紙）を使用した場合、クリーニングを定期的に行わなかった場合、推奨品以外のクリーニング液を使用した場合などは、タイヤの寿命が短くなることがあります。

トランSPORTタイムアウトを長めに設定すると、タイヤの寿命が短くなる場合があります。

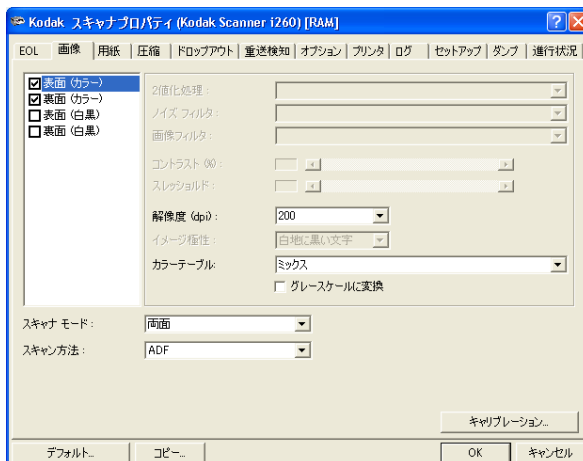
交換部品を注文するには、付録 B の「消耗品およびアクセサリ」を参照してください。

スキャナのキャリブレーション

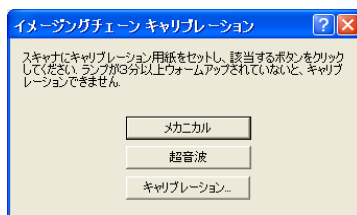
キャリブレーションを行うと、スキャナの光学システムを最適化し、スキャンイメージ全体の最高品質を実現します。このキャリブレーションを頻繁に行う必要はありません。また、お勧めしません。

注記：この項で示す画面は、TWAIN ドライバ用です。画面表示が異なる場合があります。

1. ランプが暖まるまで 3 分間待ちます。
2. イメージングタブの [キャリブレーション] をクリックします。

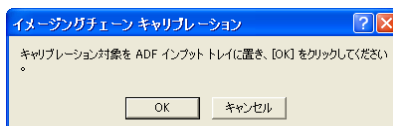


イメージングチェーンキャリブレーションダイアログボックスが表示されます。



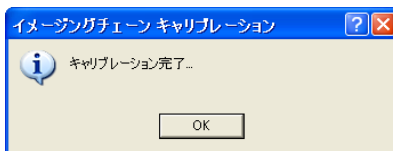
3. [キャリブレーション] をクリックします。

メッセージが表示されます。



4. スキャナの ADF にキャリブレーションシートをセットします。
スキャナに付属する 29.7cm (11.7 インチ) 角のキャリブレーションシート (CAT No. 1317304) を使用してください。
5. [OK] をクリックします。

キャリブレーションを開始します。ADF キャリブレーションが終了すると、確認ボックスが表示されます。



6. [OK] をクリックします。

トラブルシューティング

インジケータライト

スキャナには2つのインジケータライト（赤と緑）があり、スキャナの状態を表示します。



赤のインジケータライト
緑のインジケータライト

緑の点灯 — スキャナはスキャンの準備が完了

緑の点滅 — スキャナはビジー状態

赤の点灯 — エラーが発生（一般的なエラーについては、この項の「問題の解決」を参照してください。）

赤と緑の点灯 — スキャナ起動中

スキャナに電源を入れると、赤と緑のインジケータライトが点灯します。約1分後、両方のライトが消えます。緑のインジケータライトが再び点灯すると、スキャナはレディ状態で、スキャン可能になります。ただし、ホストコンピュータがスキャナを検出するまで、もう2～3分かかる場合があります。

ランプ

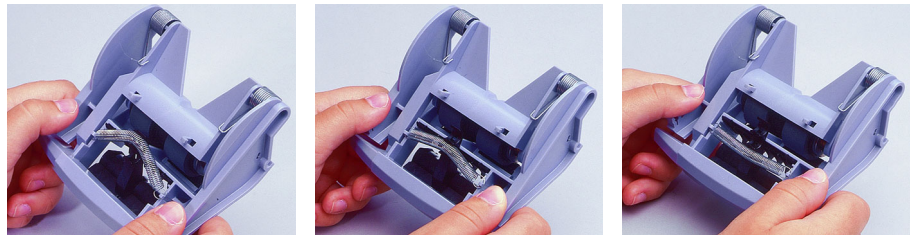
スキャナには、ランプの寿命を延長するためのランプセーバー機能があります。ランプはスキャナがアイドル状態になってから5分後に消灯します。

紙詰まりの取り除き方

1. フィーダから原稿を取り除きます。
2. スキャナドアリリースを持ち上げて、スキャナドアのラッチを解除します。
3. スキャナドアを持ち上げて開きます。
4. 紙詰まりしている原稿を探して取り除きます。
5. スキャナドアを下げて、ラッチがかかるまでしっかりと押し込みます。

セパレータモジュールの張力の調節

ほとんどの原稿はデフォルトのセパレータモジュール張力で全く問題ありません。ただし、スキャンする原稿が軽い場合や重い場合があります。セパレータモジュールのバネにはほかに2つの位置があるため、張力を調節してこのような原稿のスキャンを改善することができます。バネは2つのチャンネルのいずれかに設定するか、解除して平面上に置いたままにすることができます。



重い原稿

通常
の原稿
(デフォルト位置)

軽い原稿

1. スキャナの電源を切ります。
2. フィーダから原稿を取り除きます。
3. スキャナドアリリースを持ち上げて、スキャナドアのラッチを解除します。
4. スキャナドアを持ち上げて開きます。
5. セパレータモジュールを引き下げてから持ち上げて取り外します。
6. バネを目的の位置までゆっくり引きます。



7. セパレータモジュールを挿入し、軸の端を揃えます。
8. カチッと音がして定位置に収まるまでセパレータモジュールを押し込みます。
9. スキャナドアを下げて、ラッチがかかるまでしっかりと押し込みます。

システムが応答しない場合

スキャナまたはホストコンピュータ、あるいはその両方が応答しない場合は、次の手順を実行してください。

1. コンピュータの電源を切ります。
2. スキャナの電源を切ります。
3. IEEE-1394 (FireWire) ケーブルをスキャナ後部の IEEE-1394 ポートから外します。
4. コンピュータの電源を入れます。
5. スキャナの電源を入れます。

スキャナに電源を入れると、赤と緑のインジケータライトが点灯します。約 1 分後、両方のライトが消えます。緑のインジケータライトが再び点灯すると、スキャンの準備が完了したことになります。ただし、ホストコンピュータがスキャナを検出するまで、もう 2～3 分かかる場合があります。

6. スキャナのライトが緑になり、起動モードが終了するまで待ちます。
7. IEEE-1394 (FireWire) ケーブルをスキャナ後部の IEEE-1394 ポートに接続します。
8. ホストコンピュータのオペレーティングシステムがスキャナを認識するまで数分待ちます。

これでスキャナの使用準備が完了しました。

カラーイメージ品質

カラーイメージ品質は非常に主観的です。カラースキャンをする場合に考慮する事項があります。

- スキャナ、プリンタ、およびモニタのカラー出力の差が、スキャンした原稿の認知に影響を与えることがあります。
- コンピュータのディスプレイとプリンタの出力は、モデル、およびメーカーによって異なります。1 台のディスプレイでは満足できるイメージでも、別のディスプレイでは容認できない場合があります。
- その場所の照明（蛍光灯、自然な光、白熱灯など）がカラーの認知に影響を与える場合があります。
- イメージ内のカラー領域の外観は、その周りにあるものによって異なって認知される場合があります。
- 原稿の特徴や状態が、カラーの一貫性に影響を与えることがあります。
- カラー要件は、環境によって異なる場合があります（つまり業務上のドキュメント環境では、イメージは通常モニタで表示されますが「プリント オンデマンド」の環境だと、スキャンしたイメージが印刷されます）。

スキャナが最高画質を生み出すためには次の手順に従ってください。

- スキャナをクリーニングします。スキャナの内部が汚れていると、イメージ品質が低下します（クリーニング情報については、「メンテナンス」の項を参照してください）。
- スキャナのキャリブレーションを定期的に行い、キャリブレーションシートに汚れがなく、しわがよっていないことを確認します。

問題の解決

スキャナの使用状況によっては、スキャナに問題が発生する場合があります。多くの場合、問題は自分で簡単に解決できます。奨励するメンテナンスを行うには、「メンテナンス」の項を参照してください。スキャンアプリケーションの確認が必要な場合もあります。

問題点	解決方法
スキャナが原稿をスキャンまたは給紙しない	<p>以下を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 電源コードが接続され、電源がオンになっている。 スキャナとプリンタのアクセスドアが完全に閉まっている。 電源が正しく入っており、スキャナの緑のライトがオンである。ソフトウェアはスキャンを有効にしている。 原稿がフィードモジュールと接触している。 原稿束の高さが 10.2mm (0.4 インチ) または 60g (16 ポンド) のシートが 150 枚以内 である。 原稿のサイズ、重さ、種類などが仕様に合っている。 厚い原稿の場合は、給紙中にギャップリリースボタンを持ち上げます。 フィードモジュールおよびセパレータモジュールの消耗サインを確認して、必要に応じて交換してください。 イメージングガイドが定位置に固定され、一番奥まで押し込まれている。 <p>スキャナの電源を切って再び投入してみるか、この項の「システムが応答しない場合」の指示に従うこともできます。</p>
キャリブレーションに失敗した	<p>以下を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ランプが少なくとも 3 分間 点灯している。 適切なキャリブレーションシートを使用している。スキャナに付属する 29.7cm (11.7 インチ) 角のキャリブレーションシート (CAT No. 1317304) を使用してください。 搬送部に障害物がない。
紙詰まりが発生する	<p>以下を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 出力トレイおよびガイドが、スキャンする原稿の長さに合わせて調整されている。 詰まっている原稿すべてが搬送部から取り除かれた。 原稿のサイズ、重さ、種類などが仕様に合っている。 ホッチキスやクリップがすべて原稿から取り除かれている。 セパレータモジュールとフィードモジュールが汚れておらず、正しく取り付けられている。 ドライブローラが汚れていない。 イメージングガイドが汚れていない。
紙詰まりの誤検出が起きる	<ul style="list-style-type: none"> 搬送部が汚れていないことを確認します。 スキャンする原稿に穴がある場合 (3 穴パンチ用紙 など) は、原稿を回転させ、もう 1 度 スキャンします。 <p>注記： i280 スキャナをお使いの場合は、穴のある原稿に特殊原稿モードを使用してください。</p>
35.6cm (14 インチ) 以上の原稿が給紙されない、または詰まる	延長入力トレイおよび延長出力トレイが開いており、長尺原稿を支えていることを確認してください。
長尺モードでスキャンしているときに紙詰まりエラーが発生する	解像度を 300 dpi 、もしくはそれ以下に変えて再スキャンします。

問題点	解決方法
イメージ品質が悪い、または低下する	<p>以下を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • スキャナが汚れていない。「メンテナンス」の項を参照してください。 • スキャナのキャリブレーションが行われている。「メンテナンス」の項を参照してください。
ランプの消える時期が早すぎる	<p>i200 シリーズスキャナのランプは、スキャナが 5 分間使用されないと消灯します。もしランプが消灯しても、スキャナが省電力モードに入っていないならば（デフォルトは 15 分後）、再びランプがウォームアップするまで 5 秒の遅れが発生します。</p> <p>省電力モードのデフォルト設定は 15 分です。設定が 16 分から 60 分の間で変更されない場合、ランプはスキャナが 5 分間使用されないと消灯します。その 10 分後にファンが停止します（合計 15 分）。</p> <p>省電力タイムアウトを 15 分以上に変更した場合は、少なくとも 1 つの原稿をスキャンしないと設定は有効になりません。この設定が有効になると新しい設定に変わるか、電源が入るまで続きます。</p>
原稿がスキャン中に傾いてしまう	<p>以下を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 給紙に合わせて原稿のサイドガイドが調節されている。 • 原稿がフィードモジュールに対して垂直に給紙されている。 • 原稿が ADF の中央に給紙されている。 • ホッチキスやクリップがすべて原稿から取り除かれている。 • フィードモジュール、セパレータモジュール、およびドライブローラが汚れていない。
スキャナがスキャン中に長時間停止する	<p>以下を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ホストコンピュータの性能がスキャンの最小要件を満たしている。 • ハードディスクドライブに十分な空き領域がある。 • 他のアプリケーションがすべて終了している。 • 原稿をスキャンするのに十分なメモリがスキャナにインストールされている。 <p>スキャンソフトウェアのスキャンオプション（圧縮など）を変更してみることもできます。</p>
原稿が重送される	<p>以下を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • すべての原稿束の先端が ADF で中央に配置されているため、各原稿がフィードローラに接触するようになっている。 • フィードモジュールとセパレータモジュールが汚れておらず、消耗していない。 • 独特なタイプの原稿は手動給紙している。
スキャン後にローラの跡または筋が原稿に付く	<p>フィードモジュール、セパレータモジュールタイヤ、およびドライブローラをクリーニングします。「メンテナンス」の項を参照してください。</p>
イメージに縦線が出る	<ul style="list-style-type: none"> • イメージングガイドをクリーニングします。「メンテナンス」の項を参照してください。 • スキャナのキャリブレーションを行います。「メンテナンス」の項を参照してください。

スキャナの輸送

接続後にスキャナの輸送が必要になった場合は、元の梱包材料を使用してスキャナを再び梱包する必要があります。元の梱包材料がない場合は、最寄りの販売代理店に連絡してください。

1. コンピュータの電源を切ります。
2. スキャナの電源を切ります。
3. スキャナの後部から電源コードを外します。
4. IEEE-1394 (FireWire) ケーブルをスキャナ後部の IEEE-1394 ポートから外します。
5. スキャナの各端に梱包用エンドキャップを付けます。
6. スキャナを箱に入れます。
7. 電源コードと電源アダプタを箱に入れます。
8. 入力トレイと出力トレイをテープで固定します。
9. 箱を閉じます。

これでスキャナの移動準備が完了しました。

付録 A 仕様

スキャナの種類	i250 スキャナ：オートトキュメントフィータを備えた片面カラーレスキャナ i260 スキャナ：オートトキュメントフィータを備えた両面カラーレスキャナ i280 スキャナ：オートトキュメントフィータを備えた両面カラーレスキャナ
イメージキャプチャ解像度	75 ～ 300dpi のカラーおよび白黒
ADF 読取り速度	i250 スキャナ / i260 スキャナ： 50ppm：A4 横（200dpi） 42ppm：レター縦（200dpi） i280 スキャナ： 60ppm：A4 横（200dpi） 50ppm：レター縦（200dpi）
読取り出力	白黒、256 色、8 ヒットクレースケール、24 ヒットカラー
出力解像度	75 ～ 600dpi
ファイル出力形式	カラー： JPEG 圧縮、非圧縮 TIFF クレースケール： JPEG 圧縮、非圧縮 TIFF 白黒： G4 圧縮 TIFF、非圧縮 TIFF
スキャン領域	i250 スキャナ / i260 スキャナ： 幅： 6.4 ～ 29.7cm（2.5 ～ 11.7 インチ） 長さ： 8.9 ～ 43.2cm（3.5 ～ 17 インチ）（標準メモリを搭載した場合） 8.9 ～ 66.0cm（3.5 ～ 26.0 インチ）（拡張メモリを搭載した場合） i280 スキャナ： 幅： 6.4 ～ 29.7cm（2.5 ～ 11.7 インチ） 長さ： 8.9 ～ 86.4 cm（3.5 ～ 34 インチ）（標準メモリを搭載した場合） 長尺モード使用時は最長 609cm（20 フィート）
入力トレイ容量	60g（16 ホント）のホント紙 150 枚（A3 まで可能）
推奨処理枚数	i250 / i260 スキャナ：1 日あたり最大 5,000 枚 i280 スキャナ：1 日あたり最大 7,000 枚
光源	キセノンランプ
電源要件	100 ～ 127V、AC50/60Hz、4.0A 200 ～ 240V、AC50/60Hz、2.0A
スキャナ電源	ADF 搭載時：DC24V、最大 4.2 A（動作時） フラットヘッド接続時：DC24V、最大 3.7 A（動作時）

電源	Phihong PSM 1564-240 重要：これ以外の電源アダプタモデルや他社製の電源アダプタを代用しないでください。
スキャナ寸法	高さ： 35.4cm (14.0 インチ) (トレイなし) 36.4cm (14.4 インチ) (トレイ折り畳み時) 幅： 62.5cm (24.6 インチ) 奥行き： 28.7cm (11.3 インチ) (トレイなし) 30.0cm (11.8 インチ) (トレイ折り畳み時) 68.1cm (26.8 インチ) (トレイ拡張時)
スキャナ重量	i250 スキャナ：12.5kg (27.5 ホント) i260 スキャナ：13.9kg (30.5 ホント) i280 スキャナ：13.9kg (30.5 ホント)
ジョイント型フラットヘッドの寸法	高さ： 16.3cm (6.4 インチ) 幅： 48.6cm (19.1 インチ) 長さ： 64.3cm (25.3 インチ)
ジョイント型フラットヘッドの重量	7.3kg (16.0 ホント)
ホスト接続	IEEE-1394 (FireWire) インターフェイス、6 ヒンコネクタ
動作温度	15 ~ 35°C (59 ~ 95°F)
湿度	15 ~ 76% (乾球湿度計)
環境に関する機能	エネルギースターに準拠
消費電力	i250 / i260 動作時：<156W i250 / i260 エネルギースター仕様：<12W
発熱量	600 BTU
高度	最高 2440m (8000 フィート)
騒音レベル	データはすべて、DIN 45635、ANSI S12.10-1985、および ISO 7779 に従い、半無響音室で測定したものです。報告されているデータは、音圧レベルで測定されています。 <ul style="list-style-type: none"> • 動作時：39.7dB • スタンバイ時：57dB

仕様値は特に記載かない限り、i200 シリーズの全スキャナに適用されます。仕様は通告なしに変更される場合があります。

付録 B 消耗品およびアクセサリ

消耗品を注文するには、最寄りのスキヤナ販売代理店に連絡してください。

品目	CAT No.
コタック i200 シリーズショイント型フラットヘッド	130 5390
コタック i200 シリーズインプリンタ	892 7964
コタックフィータ交換キット i200 用 (フィータモジュール 1 個、セハレータモジュール 1 個、フリセハレーションハット 2 個、 タイヤ 24 個)	124 1066
コタックフィータ交換キット i200 用ラーシハック (フィータモジュール 5 個、セハレータモジュール 5 個、フリセハレーションハット 10 個、 タイヤ 120 個)	821 5808
コタックプリンタインクフロッタ i200 シリーズ用 (60 個)	840 5425
i200/i800/3000/4000/7000/9000 シリーズスキヤナ用コタックプリンタインクカートリッジ キャリア	826 7486
i200/i800/3000/4000/7000/9000 シリーズスキヤナ用コタックプリンタインクカートリッジ (10 個)	135 5155
コタックイメージシキカイトセット	120 0278
コタックデジタルサイエンストランスポートクリーニングシート (50 枚)	169 0783
コタックデジタルサイエンスローラクリーニングハット (24 枚)	853 5981
静電クリーニングクロス (144 枚)	896 5519
コタック i200 シリーズスキヤナ用キャリフレッシュキット	131 7304

付録 C コタック i200 シリーズインフリンタ

コタック i200 シリーズインフリンタを導入すると、ご使用のコタック i200 シリーズスキャナにインフrint機能か追加されます。インフリンタは、日付、時刻、指定された文字列、連番などを原稿の裏面に印字します。インフリンタは別売です (CAT No. 892 7964)。

インフリンタはスキャナの最高速度で稼動し、原稿の裏面 (入力トレイにセットされたときの上面) をスキャンした後に原稿に印字します。インフリンタの動作はソフトウェアで制御します。

重要： インフリンタを使用しているときは、スキャナの内部コンホーネットを毎日クリーニングしてください。

警告： フリントヘットの位置を変更するかインクカートリッジを交換するとき以外は、インフリンタアクセスタアは、定位置で閉じた状態になっている必要があります。

インフリンタアクセスタアを取り外すときは、着用している服の一部、装身具、髪の毛、またはその他の物がインフリンタ部に入り込まないようにしてください。

インフリンタキットの内容

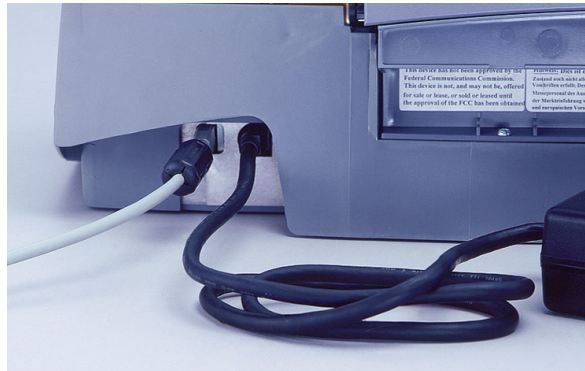
コタック i200 シリーズインフリンタキットには次の品目が含まれています。

- インフリンタホート
- 取付け用フラケット
- つまみネシ (4 本)
- インフリンタケーフル
- インクカートリッジキャリア
- インクカートリッジ
- インクフロッタ (2 個)
- 取付け手順書

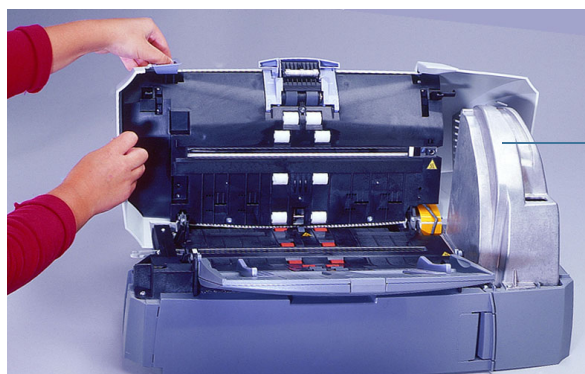
インプリンタの取付け

電子回路カハーの取外し

1. スキャナの電源がオフで、フィータ領域に原稿がないことを確認します。
2. スキャナの後部から電源コードを外します。
3. IEEE-1394 (FireWire) ケーブルをスキャナ後部の IEEE-1394 ホートから外します。



4. スキャナトアリリスを持ち上げて、スキャナトアのラッチを解除します。
5. スキャナトアを持ち上げて開きます。
6. 出力トレイを取り外します。
7. スキャナトアリリスを再度持ち上げて、電子回路カハーが見えるまでスキャナトアを開きます。



電子回路カハー

8. フラスのトライハーを使用して、電子回路カハーを固定している 2 つのネジ（前部と後部に 1 つずつ）を外します。

9. 電子回路カバーを持ち上げて、取り外します。



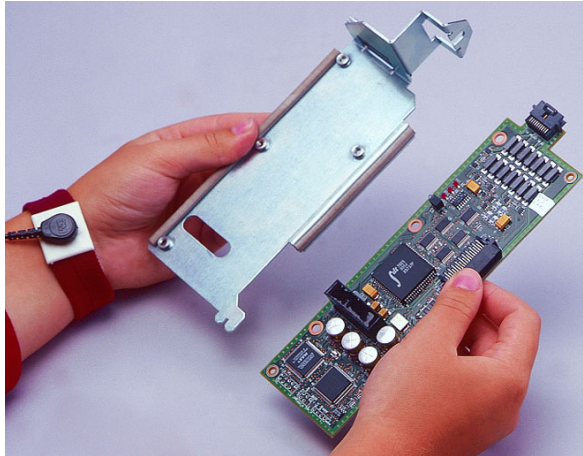
10. 次の項に進んでインフリンタホートとケーブルを接続します。

インフリンタホートとケーブルの接続

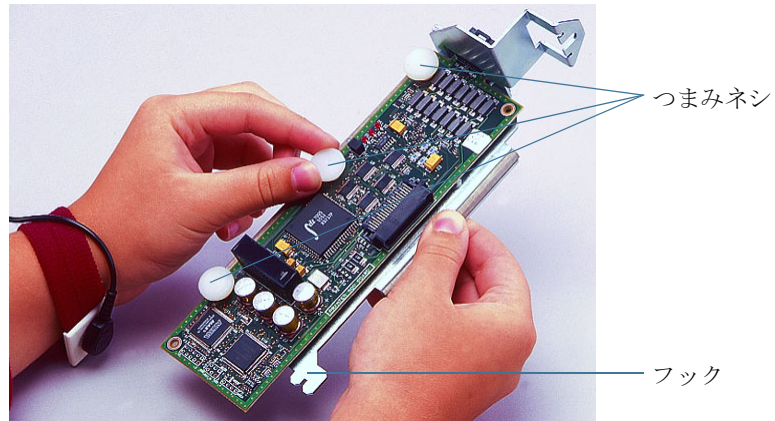
初めに、メインコントロールホートに取り付けられているフラケットにインフリンタホートを取り付け、次にインフリンタケーブルを接続します。

重要： インフリンタカードをインストールする際は、静電気を防ぐ適切な処置を行ってください。

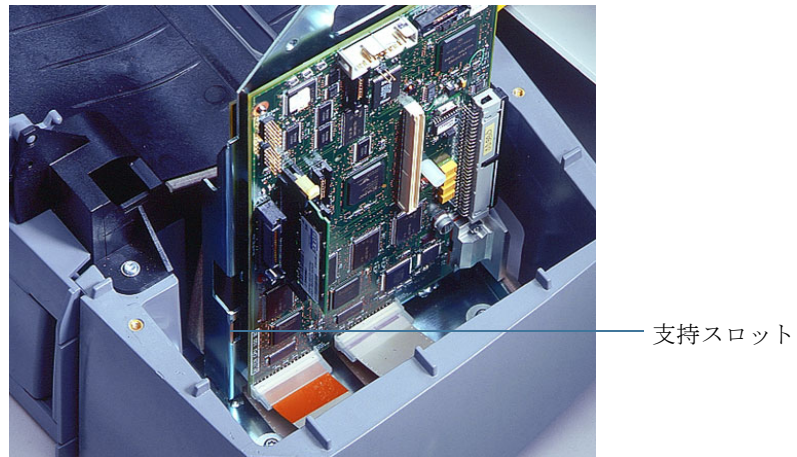
1. 電子回路のフラケットにインフリンタホートを取り付けます。



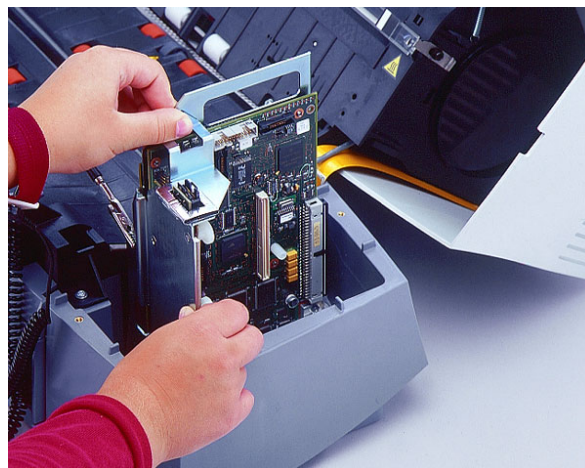
- インプリンタホート上の 3 つのつまみネジを、電子回路取り付け用フラケット上の対応する穴に合わせます。
- 3 つのつまみネジを使用して、インプリンタホートを電子回路取り付け用フラケットに緩く接続します。



- 電子回路取り付け用フラケットの底部付近にあるフックをメインコントロールホート上の支持スロットにスライドさせます。



- インプリンタホートをメインコントロールホートにしっかりと押し込みます。

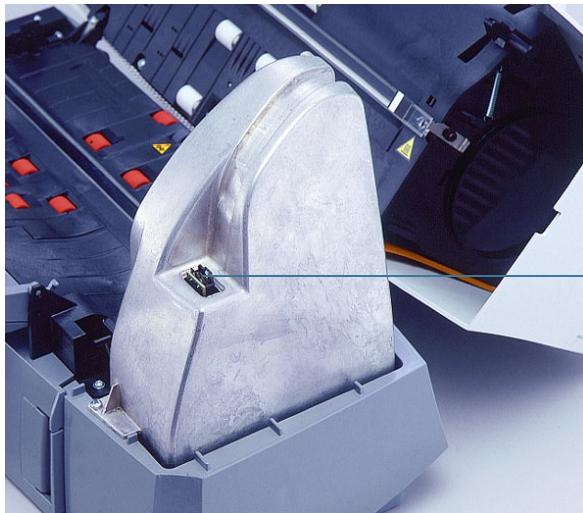


- 電子回路取付け用フラケットの上部にある4つ目のつまみネジを挿入して締めます。



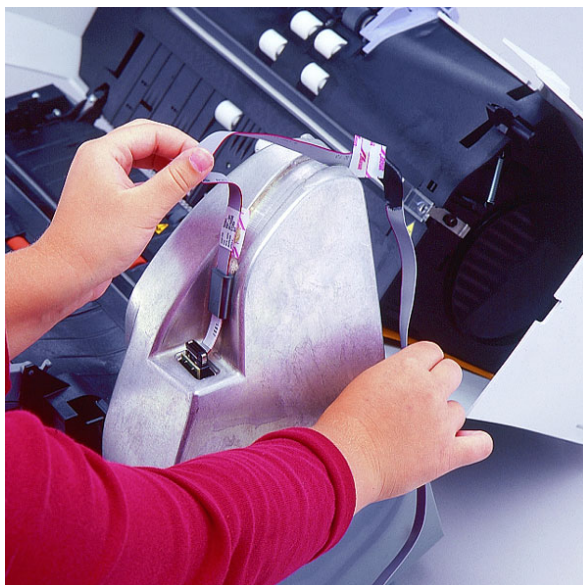
- インフリンタホートが定位置に固定されていることを確認します。
- インフリンタホートと電子回路取付け用フラケットを接続している3つのつまみネジを締めます。
- 電子回路カハーを元に戻します。
- 2つのネジで電子回路カハーを固定します。
- 電子回路カハーにあるインフリンタコネクタの位置を確認します。

インフリンタコネクタは、電子回路カハーの上部にある窓から突き出しています。

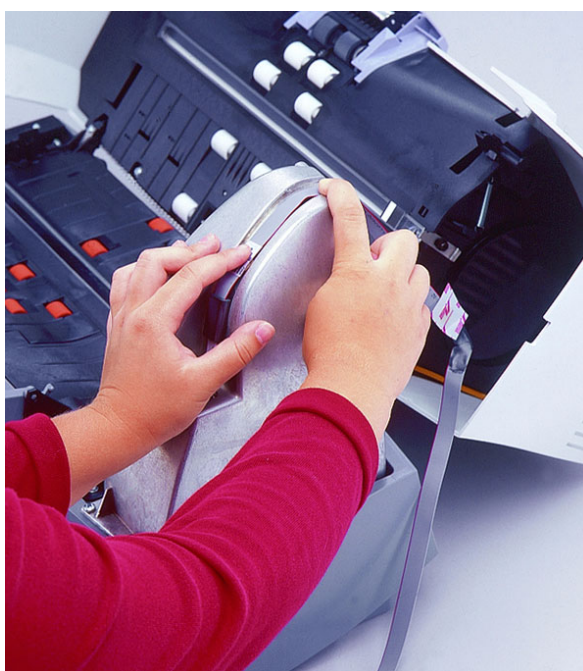


インフリンタコネクタ

12. 金属フロックがあるインプリンタケーブルの端（フェライトブロック端）を電子回路カハー上の差込み口にあるコネクタに接続します。

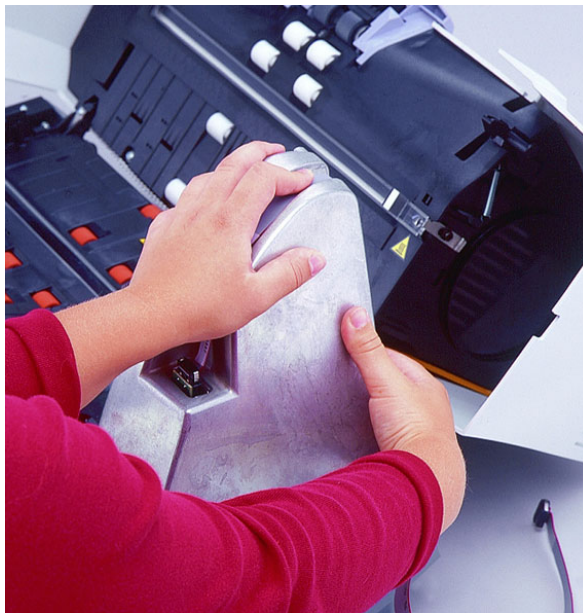


13. インプリンタケーブルに付いている 1 番目のシール付きフックアンクルーフハットから裏紙をはかします。
14. インプリンタケーブルを電子回路カハー内のチャンネルに沿って合わせ、最初のシール付きフックアンクルーフハットをしっかりと押しつけて、電子回路カハーに貼り付けます。



15. インプリンタケーブルが電子回路カハーの後ろにくるまで、電子回路カハー内のチャンネルに沿ってケーブルを合わせます。

16. インフリンタケーブルに付いている2番目のシール付きフックアンクルーフハットから裏紙をはかします。
17. 2番目のシール付きフックアンクルーフハットをしっかりと押しつけて、電子回路カバーに貼り付けます。



18. 差し込み口を経由して、インフリンタケーブルをインフリンタ領域に通します。



19. スキャナトアを下けて、ラッチがかかるまでしっかりと押し込みます。
20. 次の項に進んでインフリンタの取付けを完了します。

インプリンタの取付けの完了

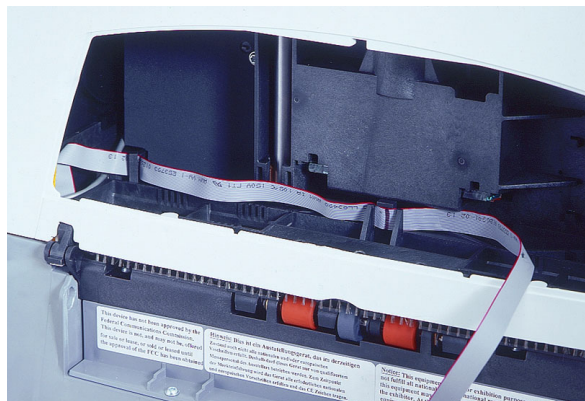
インプリンタホートとケーブルを取り付けたら、ケーブルサホート内に配置し、インクカートリッジとキャリアを取り付けてください。

重要： インクカートリッジは、インクカートリッジキャリア内ないとインプリンタを認識できません。

1. スキャナの後部にあるインプリンタアクセスタアの位置を確認します。
2. インプリンタアクセスタアハンドルの下に指を差し込んで、トアを手前に引きます。



3. インプリンタアクセスタアを持ち上げてスキャナから取り外します。
4. 電子回路カバー領域からインプリンタケーブルを静かに引っ張り、次にインプリンタ領域と反対側の右方向に引っ張ります。
5. ケーブルを左と中央のインプリンタケーブルサホートに通し、インプリンタケーブルの黒い線をサホートに合わせます。



こうすることにより、スキャナトアを開いたときにインプリンタケーブルが強く引っ張られることなくなります。

6. インクカートリッジをハッチェーションから取り出します。

注記： インクカートリッジの取付けの詳細については、この章で後述します。

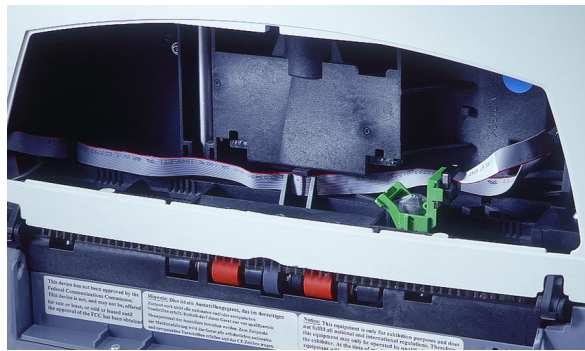
7. インクカートリッジをインクカートリッジキャリア内に配置します。

8. インクカートリッジ周囲のロックハーを下けます。

9. インフリンタケーブル上のコネクタをインクカートリッジ キャリアにしっかりと押し込みます。



10. インクカートリッジキャリアを目的の位置にスライドさせます。



注記： インフリンタ位置の設定の詳細については、この章で後述します。

11. インフリンタアクセスタを元に戻します。

12. 出力トレイを再び取り付けます。

13. 次の項に進んでスキヤナにインクフロッタストリップを取り付けます。

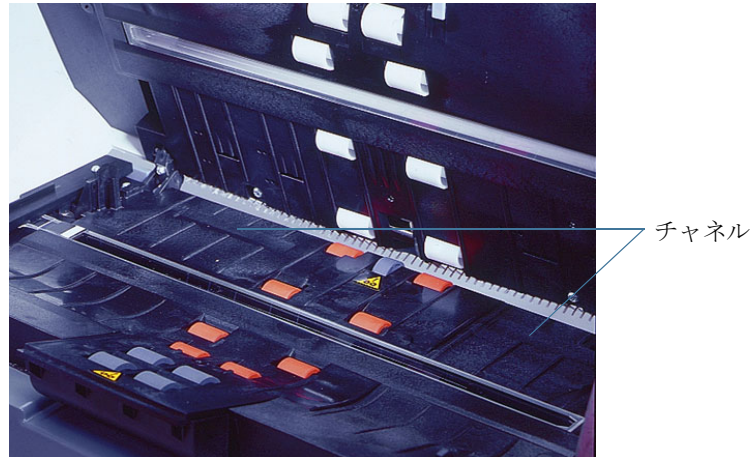
インクフロッタストリップの取付け

2つのインクフロッタストリップか、スキャナ内の搬送部で漏れたインクを吸収します。

注記：インクフロッタストリップが正しく配置されていないと、紙詰まりが発生することもあります。

1. スキャナトアリリースを持ち上げて、スキャナトアのラッチを解除します。
2. スキャナトアを持ち上げて開きます。
3. 搬送部の後部にある2つのチャンネルの位置を確認します。

これらのチャンネルにインクフロッタストリップを取り付けます。



4. 新しいフロッタストリップの裏紙を外します。
5. 片方のチャンネルにフロッタストリップを並へます。

注記：インクフロッタストリップが正しく配置されていないと、紙詰まりが発生することもあります。

6. インクフロッタストリップの糊の付いている面をチャンネルの内部にしっかりと押しつけます。
7. 他のフロッタストリップにも手順4～6を繰り返します。

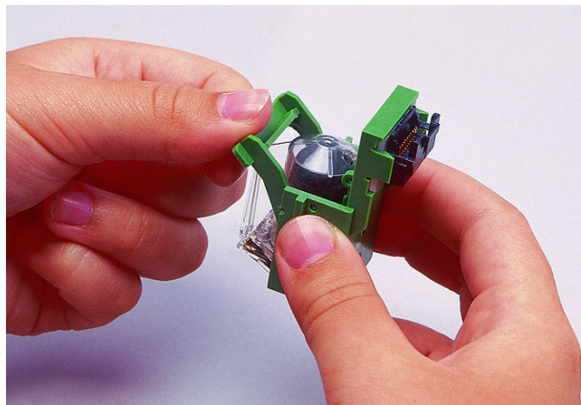


8. スキャナトアを下げて、カチッと音かして定位置に収まるまでしっかりと押し込みます。

インクカートリッジの 取り付け

インクカートリッジを取り付けるには、次の手順を実行します。

1. スキャナの後部にあるインフリンタアクセスタアの位置を確認します。
 2. インフリンタアクセスタアハンドルの下に指を差し込んで、トアを手前に引きます。
 3. インフリンタアクセスタアを持ち上げてスキャナから取り外します。
 4. インクカートリッジキャリアを定位置から引き抜きます。
 5. ロックハーを起こします。
 6. 空のインクカートリッジがある場合は、そのカートリッジを取り出します。
- 注記：空のインクカートリッジは、適切に廃棄してください。インクカートリッジは焼却しないでください。
7. 新しいインクカートリッジを挿入します。
 8. インクカートリッジ周囲のロックハーを下けます。



9. インクカートリッジキャリアを定位置にセットします。

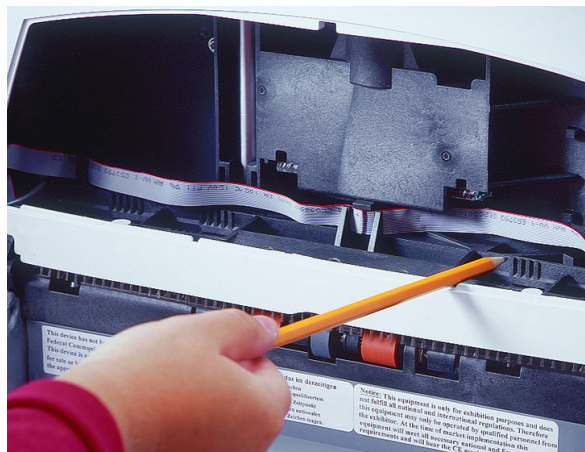
注記：インクカートリッジキャリアの位置を変更することもできます。次の項「インフリンタの設置」を参照してください。

10. インフリンタアクセスタアを元に戻します。

インフリンタ 位置の設定

インフリンタには 14 箇所の設置可能なスロットがあります。インフリンタか、原稿に対して正しい位置にあるか確認してください。

1. スキャナの後部にあるインフリンタアクセスタアの位置を確認します。
2. インフリンタアクセスタアハンドルの下に指を差し込んで、トアを手前に引きます。
3. インフリンタアクセスタアを持ち上げてスキャナから取り外します。
4. インフリンタ位置決めスロットを確認します。
5. インフリンタの要件に合わせて適切な位置を決定します。



6. インクカートリッジキャリアを定位置から持ち上げます。
7. インクカートリッジキャリアを目的の位置にスライドさせます。
8. インフリンタアクセスタアを元に戻します。

インプリンタのメンテナンス

インプリンタで使用しているインクカートリッジ、インクフロッタストリップ、およびインクカートリッジキャリアは、ときどき交換する必要があります。

インプリントに関する問題

スキャンした原稿のインプリントに問題がある場合は、以下を確認します。

- インクカートリッジが空になっていないか確認してください。空の場合は、インクカートリッジの中のインク袋が平らになっています。
- インクカートリッジがインプリンタ内に正しく取り付けられているか確認してください。
- インクカートリッジが正しいインプリントの位置に配置されているか確認してください。
- インクカートリッジキャリアがスロットに正しく配置されているか確認してください。
- インプリンタコネクタがすへてしっかりと固定されていて、インプリンタケーブルがねじれたり折れ曲かったりしていないか確認してください。

インプリンタコンポーネントの寿命

- インプリンタインクカートリッジ：カートリッジあたり約 750,000 文字
- インクフロッタストリップ：汚れた場合は、必要に応じて交換してください。
- インクカートリッジキャリア：約 500,000 ページ

インプリンタ 不使用时の注意点

インプリンタを使用しないときは、インクカートリッジの側面を下にして置き、インクがインクフロッタストリップに漏れないようにします。

インクカートリッジの交換

空のインクカートリッジの交換方法の詳細については、この章の「インクカートリッジの取付け」を参照してください。

インクカートリッジは最寄りの事務用品店で購入してください。

インク フロッタ ストリップ の交換

2つのインクフロッタストリップか、スキャナ内で漏れたインクを吸収します。これらのフロッタストリップは、必要に応じて交換してください。追加のインクフロッタストリップを注文するには、付録Bの「消耗品およびアクセサリ」を参照してください。

注記：インクフロッタストリップが正しく配置されていないと、紙詰まりが発生することもあります。

1. スキャナの電源を切ります。
2. 電源コートを外します。
3. フィータから原稿を取り除きます。
4. スキャナトアリリースを持ち上げて、スキャナトアのラッチを解除します。
5. スキャナトアを持ち上げて開きます。
6. 搬送部の後部にある2つのインクフロッタストリップの位置を確認します。



7. インクフロッタストリップをつかみ、そっと引っ張り出します。



8. 汚れたストリップは捨てます。
9. もう1つのフロッタストリップを取り出し、廃棄します。

10. 新しいフロッタストリップの裏紙を外します。
11. 片方のチャンネルにフロッタストリップを並へます。
12. インクフロッタストリップの糊の付いている面をチャンネルの内部にしっかりと押しつけます。
13. 他のフロッタストリップにも手順 10 ～ 12 を繰り返します。



14. スキャナトアを下げて、カチッと音かして定位置に収まるまでしっかりと押し込みます。

インクカートリッジキャリアの交換

インクカートリッジキャリアを注文するには、付録 B の「消耗品とアクセサリ」を参照してください。

1. スキャナの後部にあるインフリンタアクセスタアの位置を確認します。
2. インフリンタアクセスタアハンドルの下に指を差し込んで、トアを手前に引きます。
3. インフリンタアクセスタアを持ち上げてスキャナから取り外します。
4. インクカートリッジキャリアを定位置から引き抜きます。
5. ロックハーを起こします。
6. 空のインクカートリッジがある場合は、そのカートリッジを取り出します。
7. コネクタの金属のストリップをしっかりと持ち、インクカートリッジキャリアからコネクタを引き抜きます。
8. 新しいインクカートリッジキャリアにコネクタをしっかりと押し込みます。
9. インクカートリッジを交換します。
10. インクカートリッジ周囲のロックハーを下けます。
11. インクカートリッジキャリアを定位置に戻します。
12. インフリンタアクセスタアを元に戻します。

インプリンタの概要

特に金融機関、保険業界、政府機関など、1日に最高10,000ページのスキヤンニーズがある用途では、インプリンタが必要で。さらに、インプリンタを利用することで、あらゆる業界で使用される書類処理用途で有効に活用できます。

コタック i200 シリーズインプリンタの特長として、リテラル（静的）情報（つまり、ハッチ名、オヘレータなど、との原稿に対しても同じになる情報）とダイナミック（動的）情報（つまり、原稿の連番など、スキヤンするページごとに異なる情報）の両方を含めるように原稿の印字文字列を設定できる点が挙げられます。リテラル（静的）フィールドはソフトウェアによって制御されます。つまり、ソフトウェアによりユーザが入力できる情報をインプリンタに送信できます。インプリンタは手動で14種類の水平位置に配置できます。

インプリンタの制御および機能は、すべて ISIS または TWAIN トライハにより操作可能です。インプリントはスキヤンセッションごとに有効または無効にする必要はありません。許容文字数は最大40文字で、印字可能な文字セット（以下の図を参照）の任意の英数字および特殊文字を含めることができます。インプリンタ情報は、イメージヘッダレコードに記録されます。この情報はホストコンピュータからアクセスできます。

印字可能な文字セット															
空白	!	"	#	\$	%	&	'	À	Á	Â	Ã	Ä	Å	Æ	Ç
()	*	+	,	-	.	/	È	É	Ê	Ë	Ì	Í	Î	Ï
0	1	2	3	4	5	6	7	Ð	Ñ	Ò	Ó	Ô	Õ	Ö	×
8	9	:	;	<	=	>	?	Ø	Ù	Ú	Û	Ü	Ý	Þ	ß
@	A	B	C	D	E	F	G	à	á	â	ã	ä	å	æ	ç
H	I	J	K	L	M	N	O	è	é	ê	ë	ì	í	î	ï
P	Q	R	S	T	U	V	W	ø	ñ	ò	ó	ô	õ	ö	÷
X	Y	Z	[\]	^	_	ø	ù	ú	û	ü	ý	þ	ÿ
`	a	b	c	d	e	f	g	ı	¢	£	¤	¥	¦	§	
h	i	j	k	l	m	n	o	©	ª	«	¬	-	®	¯	
p	q	r	s	t	u	v	w	±	²	³	´	µ	¶	·	
x	y	z	{		}	~	‘	¹	º	»	¼	½	¾	¿	
,	..	°	,												

印字文字

文字は縦書き（回転なし）と横書き（90度回転）の2種類の向き、および大（太字）小（レギュラー）2種類のフォントサイズで印字が可能で、横書きで印字した場合には、1インチ当たり7文字が収まるように設計されています。原稿の上端または下端から0.89cm（0.35インチ）以内の場所にインプリントすることはできません。

縦
書
き

横
書
き

縦書きの向き

横書きの向き

横書きの文字フォント解像度は常に 96dpi です。縦書きのフォント解像度は複数種類あります。これによって読みやすい文字列を作成することかてきます。印字時のおおよその解像度は、以下に示すとおりです。

解像度 (dpi)		
	小さいフォント	大きいフォント
縦書き	85dpi	63dpi
横書き	115dpi	85dpi

連番 (自動インクリメント) 以外の印字文字列の変更を行う場合は、インフリンタを再起動するためのコメントをホストから送信する必要があります。原稿またはハッチ間て変更する必要があります。自動的に、または、原稿間て「オンサフライ」に変更を行うことはできません。

注記：インフリンタ使用時の原稿最小幅は、14 cm (5.5 インチ) です。

インフリンタの仕様

最大行数	1
印刷位置 (水平)	14、手動設定
印刷位置 (垂直)	ホストから設定
印刷向き	縦書きまたは横書き
フォントサイズ	大きいフォントまたは小さいフォント
インクカートリッジ	HP51604A またはそれと互換性のあるもの
印字面	裏 (スキヤン後)
インプリント可能な最小間隔 (原稿端から)	0.89cm (0.35 インチ)
使用可能なリテラル (静的) フィールド	ホストからユーザ指定
使用可能な動的フィールド	最大 9 桁のトキュメント番号、日付、4 桁の時刻
対応言語	すべての音声表記言語 (例：テンマーク語、オランダ語、英語、フィンランド語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、ノルウェー語、ホルトカル語、スペイン語、スウェーデン語)

付録 D コタック i200 シリーズジョイント型フラットヘッド

コタック i200 シリーズジョイント型フラットヘッドは、A3 サイズのフラットヘッドで、大きなサイズの前稿も i200 シリーズスキャナでスキャンできるようになります。フラットヘッドは別売です (カタログ No. 1305390)。



ジョイント型フラットヘッドキットの内容

コタック i200 シリーズジョイント型フラットヘッドには次の品目が含まれています。

- コタック i200 シリーズジョイント型フラットヘッド
- 取付け手順書

フラットヘッドの仕様

寸法 高さ： 16.3cm (6.4 インチ)
 幅： 48.6cm (19.1 インチ)
 長さ： 64.3cm (25.3 インチ)

重量 7.3kg (16.0 ホント)

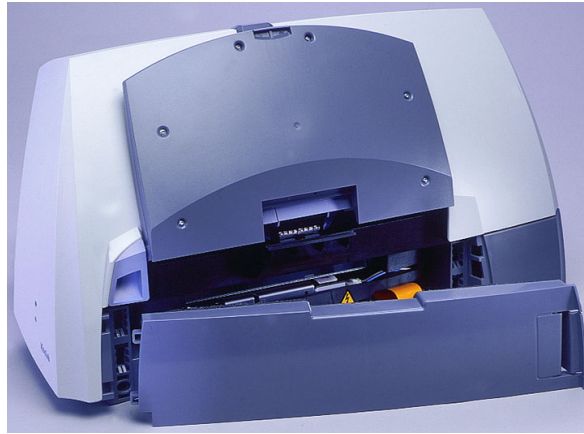
ジョイント型フラットヘッドの取り付け

ジョイント型フラットヘッドは i200 シリーズスキャナに簡単に接続できます。

1. スキャナの電源を切ります。
2. 入力トレイを持ち上げて、スキャナの側面にぴったり付くようにします。
3. スキャナのフロントパネルラッチを左に引きます。

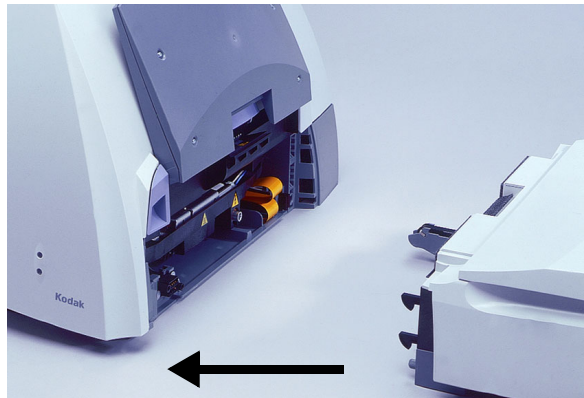


4. スキャナのフロントハネルを取り外します。



重要： ショイント型フラットヘッドがきちんと取り付けられていないとスキャナは動作しません。

5. フラットヘッドを接合部の近くにスライドさせます。



6. フラットヘッドをスキャナに向かって押して、トッキングラッチがかかるようにします。
7. スキャナのフロントハネルをフラットヘッド裏面の取り付け用支柱に接続して収納します。
フラットヘッドをスキャナから取り外す場合は、このハネルをスキャナに再び取り付ける必要があります。
8. スキャナの電源を入れます。

これでフラットヘッドの使用準備が完了しました。



注記： フラットヘッドの代わりにオートトキュメントフィータを使用するときは、入力トレイを下げます。

フラットヘットの使用方法

オートドキュメントフィーダ (ADF) を使用してスキャンできない原稿は、フラットヘットを使用してスキャンします。

1. 入力トレイを持ち上げて、スキヤナの側面にぴったり付くようにします。
2. フラットヘットカバーを持ち上げて押さえます。
3. カラスのフラテン上に原稿を下向きにして配置します。
4. 原稿の角か矢印と合うように配置します。



矢印

5. フラットヘットカバーを閉じます。
6. スキャンを開始します。

本のスキャン

フラットヘットを使用すると、本などの厚い原稿や綴じてある原稿をスキャンできます。フラットヘットカバーは綴じてある素材に応じて持ち上がるようになっています。また、非常に厚い本をスキャンする場合は、持ち上げて取り外すこともできます。

1. 入力トレイを持ち上げて、スキヤナの側面にぴったり付くようにします。
2. フラットヘットカバーを持ち上げて押さえます。
3. カラスのフラテン上に本を下向きにして配置します。



4. 本の角か矢印と合うように原稿を配置します。
5. フラットヘットカバーを閉じます。
6. スキャンを開始します。

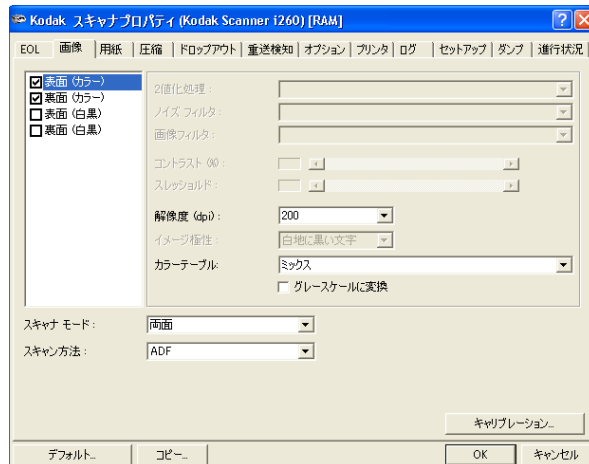
フラットヘッドのキャリフレーション

キャリフレーションを行うと、スキャナの光学システムを最適化し、スキャンイメージ全体の最高品質を実現します。このキャリフレーションを頻繁に行う必要はありません。また、お勧めしません。

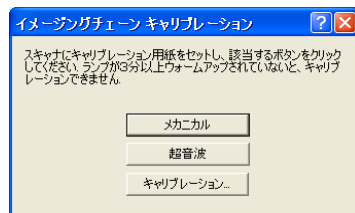
注記：フラットヘッドのキャリフレーションを行う前に、ADF のキャリフレーションを行う必要があります。

この項で示す画面は、TWAIN トライハ用です。画面表示が異なる場合があります。

1. ランプが暖まるまで 3 分間待ちます。
2. イメージングタブの [キャリフレーション] をクリックします。

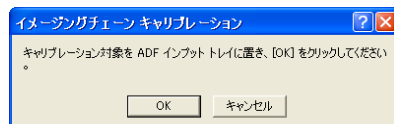


イメージングチェーンキャリフレーションタイアロックボックスが表示されます。



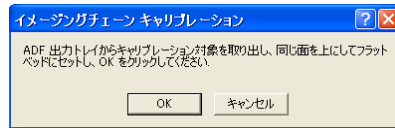
3. [キャリフレーション] をクリックします。

メッセージが表示されます。



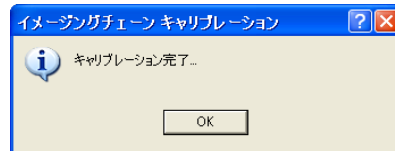
4. スキャナの ADF にキャリフレーションシートをセットします。
スキャナに付属する 29.7cm (11.7 インチ) 角のキャリフレーションシート (CAT No. 1317304) を使用してください。
5. [OK] をクリックします。

キャリブレーションを開始します。ADF キャリブレーションが終了すると、確認ボックスが表示されます。



6. スキャナの入カトレイを持ち上げて、スキャナの側面にぴったり付くようにします。
7. フラットヘッドカバーを持ち上げて押さえます。
8. カラスのフラテン上にキャリブレーションシートを下向きにして配置します。
9. キャリブレーションシートの角か矢印と合うように原稿を配置します。
10. フラットヘッドカバーを閉じます。
11. **[OK]** をクリックします。

キャリブレーションを開始します。フラットヘッドのキャリブレーションが終了すると、確認ボックスが表示されます。



12. **[OK]** をクリックします。

フラットヘッドのクリーニング

フラットヘッドのフラテンカラスには指紋やほこりか付き、スキャンの品質を下げる場合があります。コタックスキャナ用静電クリーニングクロス (CAT No. 8965519) を使用して、フラテンカラスをクリーニングしてください。

1. フラットヘッドカバーを開きます。
2. 静電クリーニングクロスでフラテンカラスを拭きます。
3. 繊維くすの出ない布でフラテンカラスを拭いて乾かします。
4. フラテンカバーを閉じます。

電源障害時の対処法

フラットヘッド使用時に電源障害が発生した場合、スキャナカメラが正しい位置に戻っていないことがあります。このような場合は、フラットヘッドを取り外さないようにしてください。電源が復帰してからスキャナの電源を入れると、カメラは定位置に戻ります。

シヨイント型フラット ヘッドの取外し

フラットヘッドはi200シリーズスキャナから簡単に取り外すことができます。

重要： フラットヘッド使用中は、取り外さないようにしてください。

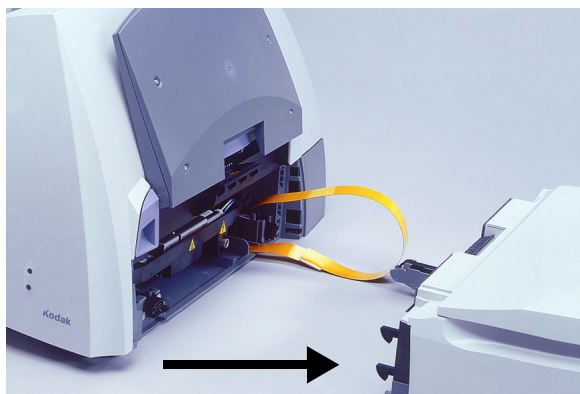
1. スキャナの電源を切ります。
2. 入力トレイを持ち上げて、スキャナの側面にぴったり付くようにします。
3. フラットヘッドの側部下方にあるラッチを押さえます。



ラッチ

トッキングラッチがスキャナから外れます。

4. フラットヘッドをスキャナから離します。



5. スキャナのフロントハネルをフラットヘッド裏面の収納位置から取り出します。
6. フラットヘッドを元のハッケージに入れて収納します。

7. フレキシブルケーブルをスキャナの内部に戻します。



このとき、フレキシブルケーブルを曲げたり折り畳んだりしないようにします。

8. スキャナのフロントハネルのヒンとスキャナのスロットを合わせます。



ス ヒン

9. トアの右側をしっかりと押して、ラッチをかけます。

重要： フロントハネルかきちんと取り付けられていないとスキャナは動作しません。

10. 入力トレイを下げます。
11. スキャナの電源を入れます。

付録 E オプションのメモリのインストール

i200 シリーズスキャナは、スキャンに必要な基本メモリ量を搭載しています。このメモリ量でもスキャンの要件を十分満たすことかてきます。ただし、長尺原稿のスキャンや特定の機能（たとえば 300dpi 以上でオートクロップ）を使用する場合、あるいはスキャン性能を向上させる場合には、メモリ（SODIMM）を追加インストールすることかてきます。スキャナのメモリの仕様は、次の表を参照してください。

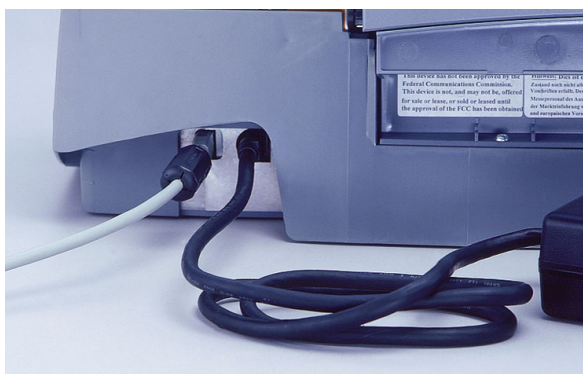
スキャナモデル	原稿サイズ	インストール済み基本メモリ	スキャナ最大メモリ容量
i250 スキャナ	標準メモリ搭載（64MB）： 29.7 x 43.2cm（11.7 x 17 インチ） 拡張メモリ搭載（256MB）： 29.7 x 66.0cm（11.7 x 26.0 インチ）	64MB	256MB
i260 スキャナ	標準メモリ搭載（64MB）： 29.7 x 43.2cm（11.7 x 17 インチ） 拡張メモリ搭載（256MB）： 29.7 x 66.0cm（11.7 x 26.0 インチ）	64MB	256MB
i280 スキャナ	標準メモリ搭載（256MB）： 29.7 x 81.3cm（11.7 x 34 インチ）	256MB	512MB

重要： *DDR (Double Data RAM) 型モジュールを、i200 シリーズスキャナの CPU ホートソケットに取り付けることはできません。使用できるのは、PC-100 および PC-133 型モジュールのみです。*

メモリをインストールする際は、静電気を防ぐ適切な処置をしてください。

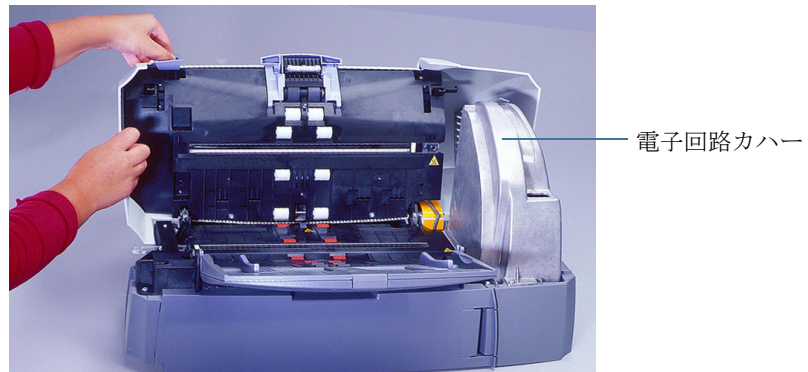
スキャナへのメモリのインストール

1. スキャナの電源を切ります。
2. フィータから原稿を取り除きます。
3. スキャナの後部から電源コートを外します。



4. IEEE-1394 (FireWire) ケーブルをスキャナ後部の IEEE-1394 ホートから外します。

5. スキャナ出力トレイを取り外します。
6. スキャナトアリリースを持ち上げて、スキャナトアのラッチを解除します。
7. スキャナトアを持ち上げて開きます。
8. スキャナトアリリースを再度持ち上げて、電子回路カハーが見えるまでスキャナトアを開きます。



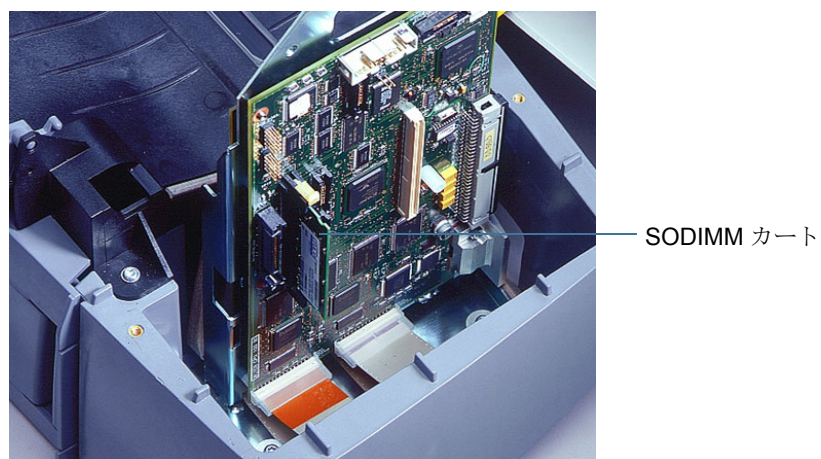
9. フラスのネジ回しを使用して、電子回路カハーを固定している 2 つのネジ（前部と後部に 1 つずつ）を外します。

注記： オプションのインフリンタがインストールされている場合は、電子回路カハーを取り外す前に、インフリンタホートからインフリンタケーブルを外します。インフリンタケーブルについては、付録 C の「コタック i200 シリーズインフリンタ」を参照してください。

10. 電子回路カハーを持ち上げて、取り外します。



11. 既存のメモ리카ートをメインコントロールホートから取り外します。



12. 新しい SODIMM カートをメインコントロールホートに取り付けます。

13. 電子回路カバーを元に戻します。

14. 2つのネジで電子回路カバーを固定します。

注記： オプションのインフリンタケーブルをインフリンタホートから外している場合は、ここでケーブルを接続します。インフリンタケーブルについては、付録 C の「コタック *i200* シリーズインフリンタ」を参照してください。

15. スキャナドアを下けて、ラッチがかかるまでしっかりと押し込みます。

16. スキャナの出力トレイを再び取り付けます。

17. IEEE-1394 ケーブルをスキャナ背面の IEEE-1394 ホートに再度接続します。

18. 電源コートを再度接続します。

〒 104-0033

東京都中央区新川 2-27-1

東京住友ツインビル

コダック株式会社

コマースイメーシング事業部

www.kodak.com/go/docimaging

Kodak および Digital Science は、イーストマンコダック社の登録商標です。

A-61167_ja 4/2005
Cat. No. 8507543
©Eastman Kodak Company, 2005

DOCUMENT
IMAGING



INNOVATION YOU CAN COUNT ON™